

美術

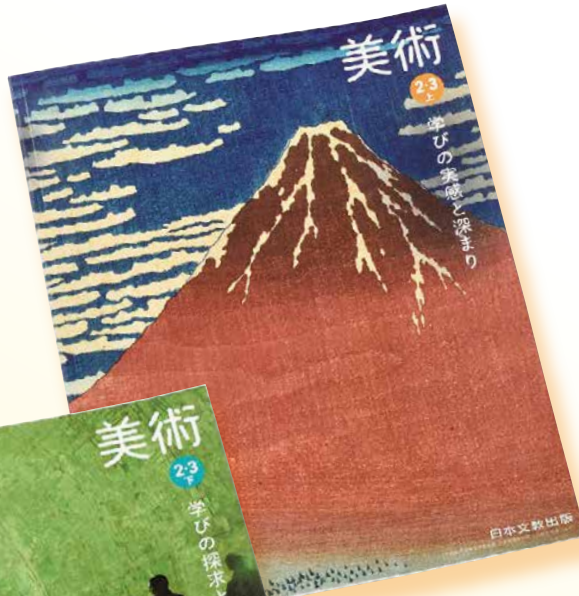
1

2・3
上

2・3
下

令和7年度版 中学校 内容解説資料

授業が
見通せる
題材紙面



個別最適な
学習に役立つ
QRコンテンツ

指導計画が
立てやすい
3分冊構成



もっと学びやすく、
教えやすくなった
教科書です



授業づくりが
より明確になる
教師用指導書



日本文教出版のWebサイト
新版教科書情報

日文 Q



この不透明で変化の激しい時代。

そのような中でも、美術の学びは、美しいものに感動し、感性を豊かにし
そして、課題を見つけ、形や色彩などで解決することを学習する
貴重な教科であると考えます。

私たちは、美術教育とともに歩んで73年。

心身ともに成長をする多感な中学校3年間の成長に寄り添いながら、
学びを実感し探求する美術の教科書を発行してきました。

教育現場の環境も、時代とともに変わっています。

教科書や教師用指導書の果たす役割は、
社会の変化や、生徒の変容、先生の働き方などを考慮する中で、
指導のしやすさをもっと重視すべきであると感じ、
検討を重ねました。

その結果、若手や講師を含め、どのような立場の先生にとっても、
指導の役に立つことを考えた教科書が出来上がりました。

生活や社会と関わる美術の学びが、
生徒の学びに、先生の指導の力になればと。

全ての生徒の**確かな学び**に 全ての先生の**指導の力**に

もっと学びやすく、教えやすい！
教科書の特徴ダイジェスト7 2
 日文教科書の編集方針 美術の学びで3年間の成長を後押し 6

日文教科書の特徴 8
特色1 先生が指導しやすい教科書 10-21
 ・指導がしやすい題材紙面構成 10
 ・指導を支える紙面の工夫 12
 ・全題材の本文とセットで題材導入動画(QR)を新設 14
 ・学年別の指導を考えた3分冊① 表紙と巻頭の一体化 16
 ・学年別の指導を考えた3分冊② 3年間の成長に寄り添った題材 18
 ・学年別の指導を考えた3分冊③ 題材配列と系統性 20

特色2 生徒が自ら学びたい教科書 22-31
 ・主題を生み出す発想・構想の手立て 22
 ・主体的な活動を実現する「学びを支える資料」 24
 ・実感的理解を生み出す造本上の工夫①
 折って立てられる屏風のしかけ 26
 ・実感的理解を生み出す造本上の工夫②
 高精細印刷の浮世絵ページ 28
 ・実感的理解を生み出す造本上の工夫③
 原寸大図版で大きさを実感 29
 ・進度に合わせて学べるQRコンテンツ 30

特色3 生活や社会につながる教科書 32-41
 ・生活や社会と結びついた美術の学び 32
 ・学校生活に生かされる美術の学び 34
 ・道徳との関連 35
 ・キャリア教育の観点 36
 ・美術でつながる現代的な諸課題 37

教師用指導書のご案内 42
 学習者用デジタル教材のご案内 46
 日文Webサイトのご案内 47

資料 教科書関連データ集 48-63
 ・教科書構成一覧 48
 ・年間指導計画例 50
 ・教科書に掲載した各地域の取り組みや主な掲載作家・作品 52
 ・教科書検討の観点からみた特色 56

著作者のご紹介 裏表紙

現代的な諸課題への対応は次のページに掲載しています。

小学校との接続 6, 20
 特別の教科 道徳との関連 35
 キャリア教育 36
 インクルーシブ教育 37
 多様性への配慮 37
 SDGs、ESDとの関連 38
 環境への配慮 38
 防災、安全との関連 39
 多文化共生 39
 郷土愛、伝統文化との関連 39
 AIや最先端技術の扱い 49
 平和・人権 40
 言語能力の育成 41
 情報活用能力の育成と情報モラル 41
 問題発見・解決能力の育成 41

教科書の 特色ダイジェスト7

もっと学びやすく、
教えやすい!

日文教科書の改訂のポイントとなる主な特色を
ダイジェストで紹介します。
併せて各特色の解説ページもご覧ください。



裏表紙にわたって作品が
掲載されています。



2 授業の見通しが持てる 題材紙面です。

Check!

→ p.10-11
指導がしやすい
題材紙面構成

〈鑑賞の入り口〉 その人の人柄や心情は
どこから感じられるのだろうか。

鑑賞の入り口

表現のヒント

ポーズを取り合い
構想を練る
友だちにポーズを取っ
てもらい、いろいろな
角度からしぐさや表情
を見ながら、表したい
ことを考えよう。



真正面や左右、後ろな
ど、方向を変えると見
えてくることがある。
自撮りも上下に変えるな
ど、さまざまな視点か
ら見ることで、その人
らしさを探ってみよう。

表現のヒント

〈造形的な視点〉

顔の角度や表情、しぐさ、
色彩などに着目し、
どのように生かすか考えよう。

造形的な視点

紙面レイアウトが
すっきり見やす
くなりました。



1p.18-19
「人間っておもしろい」

人物を表すことは、表す人をよく
理解し、その人に対する気持ちに向
き合うことにもつながります。表す
人を改めて見つめ、あなた
の気持ちまで表せるように
工夫しましょう。



3 全ての題材に 設置しました! 導入QRコンテンツ 「学びのはじめに」

Check!

→ p.14-15
全題材の主文とセットで
題材導入動画(QR)を
新設

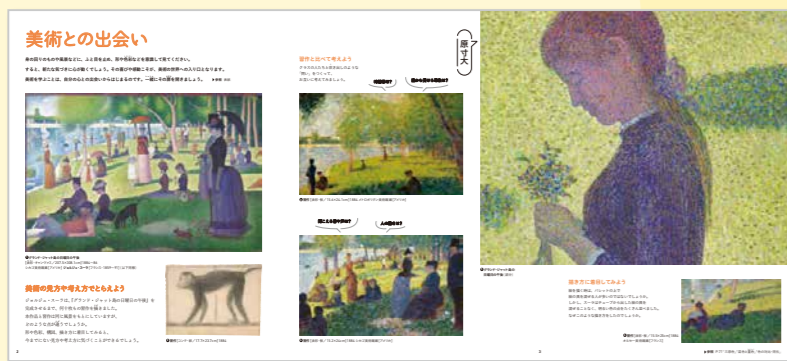


1 3学年の成長に寄り添う 3分冊です。

Check!

→ p.16-21
学年別の指導を
考えた3分冊

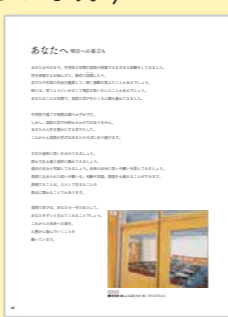
1年生には小中連携を意識したページ、3年生では
美術の学びを振り返るページを設定しています。



1p.2-4「美術との出会い」
表紙と一体化した巻頭オリエンテーション。



1p.6-7「ようこそ美術の学びへ」



2・3下p.60
「あなたへ 明日への巣立ち」

4 生徒の発想・構想を サポートする手立てを 充実させています。



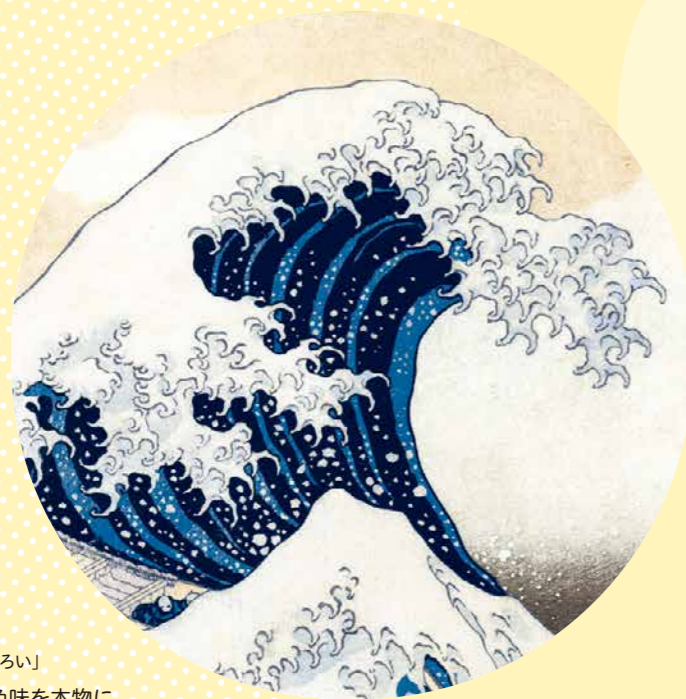
2・3下p.38-39「自分を表現する色」
アイデアスケッチ

Check!
→ p.22-23
主題を生み出す
発想・構想の
手立て

作者の言葉

僕にとっての真夏はいつも短かったが、忘れられない思い出がいっぱいある。青空は時に悲しくもあり、あの人の人の顔が浮かんでくる。この絵はだれかの姿であり僕の姿でもある。

2・3上p.42-43「その一枚が心を動かす」
作者の言葉



2・3上p.24-29
「浮世絵っておもしろい」
高精細印刷で色味を本物に
近づけた原寸大掲載の「神奈川沖浪裏」。

きっかけを探す

気になる物事に会ったらすぐノートにスケッチ。「たまたま開いたページに描くので、目にする過去のアイデアにワクワクすることも」



偶然見つけたイメージを、ノートに残す。「飛行機の窓から見た船が、ふとファスナーに見えたんです」



「余白に思いつきを描き足せるようにしています」

「思いつきを人に話すと、アイデアが膨らんで面白くなる事が多く、おすすめです!」



1p.58-59「発想・構想の手立て①」/ 鈴木康広、田中達也

5 造本上の工夫で 実感的理解を 促します。

Check!
→ p.26-29
実感的理解を
生み出す
造本上の工夫



1p.56-57「火焔型土器」
A4ワイド判の紙面を生かし
原寸大で掲載。

6 現代的な諸課題への 配慮をしています。

Check!
→ p.37-41
美術でつながる
現代的な諸課題



2・3上p.48-49
「デザインのかでできること」



③アイス・ウォッチ[氷/サイズ可変]2018
テート・モダンでの展示[イギリス]
オラファー・エリアソン、ミニック・ロージング[デンマーク・1957~]

2・3下p.2-4「学びの探求と未来」



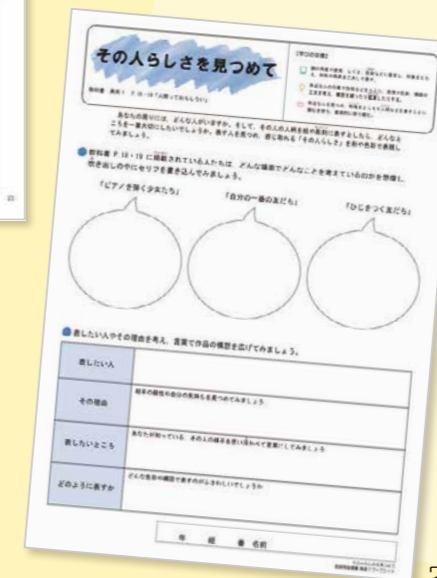
朱書編



大判掛図

7 授業をサポート する指導書が 充実しています。

Check!
→ p.42-45
教師用指導書の
ご案内



ワークシート



美術の学びで3年間の成長を後押し

予測困難な社会を生き抜く生徒たちに必要なのは、豊かな感性を育みながら自ら課題を発見し、試行錯誤しながら解決方法を探り、新たな価値を創造する「美術の学び」です。
本教科書は、中学3年間の各学年の資質・能力に合わせて生徒の成長に応じた3分冊として内容を構成しています。

これからの時代を生き抜く 資質・能力を養う美術の学び

中学3年間それぞれの発達に応じた造形的な見方・感じ方を示し、豊かな感性を育むことで美術科の資質・能力を養うことができる教科書です。

豊かな感性を育み、 想像する喜びを実感する美術の学び

表現や鑑賞の多様な活動を通して、創造活動の喜びや美術文化への理解を深め、造形的な視点を養い、生徒自身が成長を実感できる教科書です。

生活や社会に豊かに関わる 美術の学び

さまざまな作品や活動と出会い、体験することで、生徒自身が自分ごととして受け入れ、多様な表現と価値観に触れられる教科書です。

小学校 図画工作



美術① 美術との 出会い



美術② 学びの実感 と深まり



美術③ 学びの探求 と未来



TOPICS

考えさせる、気付かせる学習プロセスの重視と 中学校美術科の学びの明確化

中学校美術科は、何を学ぶ教科なのでしょうか。美術科の教科目標には「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することが明示されています。美術や美術文化への豊かな関わり方としては、例えば、画家やデザイナー等美術に関する職業に就くこと、趣味で絵を描いたり美術鑑賞をしたりすること、デザインにこだわってものを選ぶこと、紅葉などを見て美しさを感じるなどが考えられます。どのような生活を送っても美術を身近に意識することで、普段の生活の中に楽しさや安らぎが感じられるのではないのでしょうか。美術

と豊かに関わるためには、造形的な視点を持つことが大切です。描き方、つくり方を学ぶことも必要ですが、中学3年間の学びの中でたくさんの造形のアンテナを獲得し、1年生の入学時には、気付かなかったことや考えもしなかったことが、卒業時には豊かに感じ取り考えられるようになる、このような学びの獲得が重要です。日本文の教科書では、「鑑賞の入り口」や「造形的な視点」を各題材ページに示しています。これは、表現や鑑賞の具体的なヒントになるとともに、造形的な見方や考え方を働かせてアンテナを獲得する視点にもなっています。



代表著者
元文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
元 IPU・環太平洋大学教授・副学長
むらかみひさのり
村上尚徳先生

日文教科書の 特色

特色 1 先生が指導しやすい教科書
授業づくりに役立つ特色を紹介します。

- 指導がしやすい題材紙面構成 10
- 指導を支える紙面の工夫 12
- 全題材の主文とセットで題材導入動画(QR)を新設 14
- 指導を考えた3分冊①
表紙と巻頭の一体化 16
- 実指導を考えた3分冊②
3年間の成長に寄り添った題材 18
- 指導を考えた3分冊③
題材配列と系統性 20



特色 2 生徒が自ら
学びたくなる教科書
生徒の学びやすさに関する特色を紹介します。

- 主題を生み出す発想・構想の手立て 22
- 主体的な活動を実現する「学びを支える資料」 24
- 実感的理解を生み出す造本上の工夫①
折って立てられる屏風のしかけ 26
- 実感的理解を生み出す造本上の工夫②
高精細印刷の浮世絵ページ 28
- 実感的理解を生み出す造本上の工夫③
原寸大図版で大きさを実感 29
- 進度に合わせて学べるQRコンテンツ 30



特色 3 生活や社会に
つながる教科書
現代的な諸課題に関する特色を紹介します。

- 生活や社会と結びついた美術の学び 32
- 学校生活に生かされる美術の学び 34
- 道徳との関連 35
- キャリア教育の観点 36
- 美術でつながる現代的な諸課題 37

指導がしやすい 題材紙面構成

造形的な見方・考え方に着目させる問い掛けをはじめ、先生の指導のしやすさを考えた紙面構成です。授業の流れを考えやすく、かつ多様な展開も期待できます。

題材名

活動や目的をイメージさせるとともに、生徒の意欲を引き出す工夫も。

〈鑑賞の入り口〉

この題材で作品鑑賞をする際の主発問となり、造形的な見方・考え方に気付かせるための問い掛け。

主文とQRコンテンツ

この題材に必要な造形的な見方・考え方を示し、授業の導入で使用しやすいように問い掛け型の文章でまとめている。さらに文末にある二次元コードは、題材導入QRコンテンツ「学びのはじめに」にリンクし、主文と併せて授業の導入に活用できる。

学びの目標

育成すべき資質・能力の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に基づいた目標を、生徒にも分かりやすい言葉で設定。導入時のほか、学習途中や振り返りでも活用できる。

作者の言葉

その作品の主題や、表現の工夫点等について作者自身の言葉で語られている。発想・構想のヒントとしても活用できる。

表現のヒント

発想・構想の手立てや、技能面の補足を示している。

〈造形的な視点〉

この題材で着目させたい造形的な視点(共通事項)や考えさせたい効果等を提示している。

ここがこだわり

白地を基調として作品を生かす

私たちは教科書を含め、沢山の本の誌面のデザインをします。その中でもこの美術の教科書は特別です。掲載されている作品を生かすために白地を基調として、余計な装飾は極力抑えたデザインにしました。主文の位置など整理して、学びの内容が伝わりやすくしました。この教科書紙面自体も、デザインの「見本」として見て欲しいと思っています。

アートディレクター
ほそやまみつおのぶ
細山田デザイン事務所 細山田光宜さん

TOPICS

鑑賞と表現を関連させて 学びを深める

題材ごとに何に着目してどう考えればよいのかという「見方・考え方」に気付かせるために、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示しています。これらを基に掲載作品などの「鑑賞」-生徒自らの「表現」-お互いの作品の「鑑賞」を行うことで学びの定着を図ります。

代表著作者 村上尚徳先生

彫刻
鑑賞

人間って おもしろい

〈鑑賞の入り口〉 その人の人柄や心情はどこから感じられるのだろうか。

学びの目標

- 顔の角度や表情、しぐさ、色彩などに着目し、印象をとらえ、材料や用具を工夫して表す。
- 身近な人の印象や性格などをもとに、表情や色彩、構図の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
- 身近な人を見つめ、特徴をとらえて人柄などを表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。



あなたの周りには、どんな人がいるのでしょうか。友だちや家族など、その人ならではのしぐさや表情を思い浮かべて、その人らしさは一体どこからきているのか、考えてみましょう。

人物を表すことは、表す人をよく理解し、その人に対する気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を改めて見つめ、あなたの気持ちまで表せるように工夫しましょう。



18 遠藤との関わり ▶ 温かい人間愛の精神を深め、ほかの人々に対し思いやりの心を持つ。

1p.18-19「人間っておもしろい」



自分の一番の友だち

時間をかけて顔色や表情の表現を学習しました。どんな顔色に変化して、深まっていくのが楽しかったです。



部活終わりの帰り道



おしをつく友だち

Check! そのほかの題材紙面構成は
→ 12・13ページをご覧ください。

表現と鑑賞の 一体化を意識した 学習の流れ

鑑賞 見る・考える・気付く



主文を読み、題材導入QRコンテンツ「学びのはじめに」を視聴し、題材の全体像を理解する。



〈鑑賞の入り口〉の問い掛けを基に、教科書の作品を鑑賞しながら、その人らしさがどこから感じられるか考える。



人柄や心情はどこから感じられたかを発表して、〈造形的な視点〉に気付く。

表現 考える・生かす



ポーズや構図を変えて、その人らしさを表す表現を探してみよう。

作品を鑑賞したり、表現のヒントを参照してタブレットを活用したりして、表したいことやイメージの構想を練る。表現活動中も適宜〈造形的な視点〉を意識する。

鑑賞 確かめる・広げる・深める



色づかいがやわらかくて、優しい感じが伝わるね。

お互い顔を寄り添わせて仲がいいんだね。

完成作品の振り返りは、〈造形的な視点〉を基に根拠を持って鑑賞する。また、〈鑑賞の入り口〉の問い掛けを再確認することもできる。

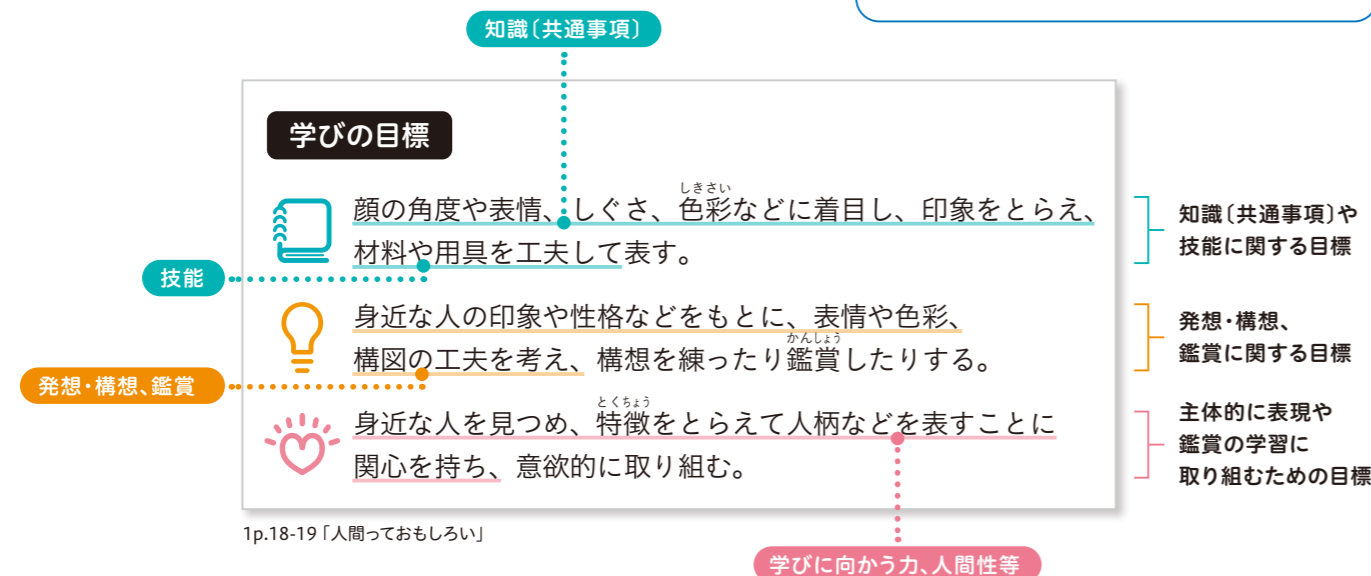
指導を支える紙面の工夫

題材ページでは、指導のしやすさを考えた構成のほか、学習に役立つ工夫を随所に取り入れています。

「何を学び」「何ができるようになるか」を分かりやすく

学びの目標は評価と一体化

「学びの目標」は3観点でまとめていますが、5項目に細分化できるように分かりやすく示しています。「思考力、判断力、表現力等」は、発想・構想の目標(A表現)と、鑑賞の目標(B鑑賞)の両方を示し、表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切にしています。目標の5項目は、そのまま評価の観点につながります。



表現と鑑賞マークで資質・能力を総合的に

表現と鑑賞マークは、表現と鑑賞が相互に関連していることを示しています。活動の中で常に発想・構想と鑑賞の資質・能力を総合的に働かすことを意識できるように、全ての題材に配置しています。

表現

鑑賞

鑑賞

鑑賞マークのみは、美術作品や美術文化に関する鑑賞領域の題材で表示。

TOPICS

表現と鑑賞は一体的に学習

学習指導要領では、指導計画の作成に当たって発想・構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習を深めるようにすることが示されています。教科書では表現と鑑賞マーク表示のほか、学びの目標等の文章の工夫で、表現活動にも鑑賞が含まれていて、相互の関連を図った授業展開ができるように配慮しています。

学習の幅を広げるさまざまな工夫

情報機器活用のヒントを示したICTマーク

表現や鑑賞の活動の中でタブレットPC等の情報機器を活用して取り組む事例を紹介し、情報活用能力の育成にも配慮しています。



1p.18-19「人間っておもしろい」

タブレットPCで構想を練る



タブレットPCなどで、つくりたい動物の骨格標本や筋肉解剖図を映し出し、関節の位置や筋肉のつき方などを確認しながら制作を進めてみよう。

2・3上p.18-19「小さく語る動物たち」

弾力的な指導計画を可能にする短時間題材の設定

短い時数でも表すことのできる作品を掲載しています。短時間での題材を設定することで、柔軟な指導計画を可能とし、1年間でより多くの資質・能力を育てることができます。



1p.20-21「材料に命を吹き込む」
立体表現の題材での短時間題材の一例。



2・3下p.9-13「わたし自身を見つめて」
顔の一部分だけ描いて表現する自画像での短時間題材の一例。

確認しやすい活動中の注意点

活動中の材料や用具の取り扱い等について、必要な場面では目立つように安全指導を掲載し、注意を促しています。

注意しよう

撮影禁止の場所では撮影しないようにしましょう。また人の顔を無断で撮影・公開すると、プライバシー権や肖像権の侵害になります。

2・3下p.42-43「動きで伝えるメッセージ」

注意しよう

金属の切り口や道具で手をけがしないよう、作業中は慎重に取り扱おう。

1p.20-21「材料に命を吹き込む」

全題材の主文とセットで 題材導入動画(QR)を新設

主文にある「造形的な見方・考え方」を軸にした題材導入動画「学びのはじめに」を新設しました。
これにより、指導内容がより明確になり、学校の実情に合わせてどの立場の先生でも活用しやすいようになりました。

人物を表すことは、表す人をよく理解し、その人に対する気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を改めて見つめ、あなたの気持ちまで表せるように工夫しましょう。



どんな授業でも使えるように 題材導入動画「学びのはじめに」とは

題材の主題の生成や、何を学んでほしいかを動画によって提示できるよう、2分程度の短い導入動画を全題材で用意しました。先生の授業準備の負担を軽減し、どのような立場の先生にも活用しやすいコンテンツです。

1p.18-19「人間っておもしろい」

題材導入動画活用のメリット

1

授業準備の際に、これまで先生たちが自作していた導入資料に変わる内容となり、負担が軽減されます。

2

若い先生だけでなく、講師や免許外の先生、再任用の先生等、どのような立場の先生も授業に合わせて使えます。

3

指導が苦手な分野では、先生が生徒と一緒に視聴しながら取り組むことで、安心して指導でき、さらにカリキュラムの幅が広がります。

日文的 ここがこだわり

個別最適な学習にも対応

- 忙しい先生たちでも使えるように、現場著者の先生3人でチームを組んで、活用場面や、先生方の現状、学校の実情等を何度もイメージして企画しました。
- 生徒には、自分ごとに捉えて学習してほしい思いで、ナレーションを多用せずに、一瞬考える間をつくる等、動画でありながらも受け身にならないことを大切にしました。
- 約30万人*と言われる不登校生等、多様化した生徒の実情にも合わせて、美術の学びが家庭を通じて保護者にも伝わることを願っています。



著者
横浜市立東山田中学校
荻島千佳先生

*文部科学省資料による(令和5年10月4日公表)

題材導入動画

「学びのはじめに」の特徴

- ✓ 2分程度の短い動画の中で、主題を生成する投げ掛けや、何を学ぶのが提示されている。
- ✓ 生徒が、自分ごとに置き換えて主体的に捉えられるように「あなたならどう思うか?」と問うことで、対話を増やし、言語活動が活発になることを目指している。
- ✓ NHKアーカイブ映像の貴重な資料映像を豊富に使用することで、より生徒の興味関心をひくように工夫している。



伝統工芸題材では、人間国宝の志村ふくみさんが登場。



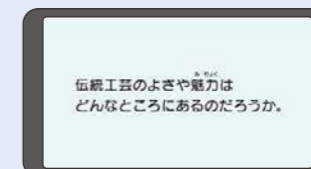
浮世絵の題材では、江戸時代に庶民に親しまれていた様子を映像で再現。

いつ使う?どんな内容?

題材導入動画 「学びのはじめに」 もっと知ろう Q&A

Q いつ見せればいいですか?

A 主文を読む前でも、読んでからでも構いません。動画は<鑑賞の入り口>からスタートし、題材名も確認できますので、動画で導入を進めてください。一斉に視聴することをお勧めしますが、途中で止めて問いを投げ掛けるなど、先生が自由に展開することができます。指導事項や授業展開に合わせて参考資料としても活用いただけます。



全ての動画の最初は<鑑賞の入り口>を表示。



教科書紙面の作品をピックアップして構成。

Q どんな構成になりますか?

A その題材の教科書紙面に掲載された図版を活用して動画にしています。表現・鑑賞題材では、主題を生み出すことができるように、先生役と生徒役の掛け合いで進行します。鑑賞題材では、掲載作品に関連した貴重な映像に迫り、興味関心をひきつけます。



気になる情景として身近な通学路の例示したシーン。



現代美術作品から、不思議なスイング・プールの魅力に迫った映像。

Q どんな動画がありますか?

A ラスコー洞窟壁画や、パチカン美術館のらせん階段、佞武多の祭りの造形、浮世絵が描かれた江戸時代の再現動画、風神雷神図屏風に迫った映像など数々の名画や、貴重な資料映像を収録しています。



「ラスコー」の映像では、復元された洞窟の入り口や内部の映像も。



「パチカン美術館」のらせん階段を多角度の動画で提示。

学年別の指導を考えた3分冊①

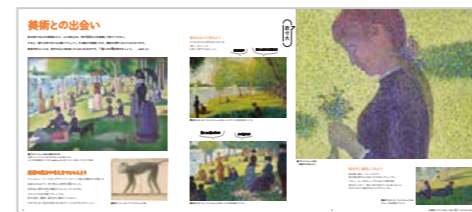
表紙と巻頭の一体化

生徒のつぶやきの一例
先生の発問の一例

日文教科書は、発達の段階を考えた3分冊で編集しています。

各冊の表紙と巻頭オリエンテーションではテーマを一体化させ、学びが途切れないスムーズな授業開きを実現します。

●各冊の巻頭オリエンテーション紙面



1p.2-4「美術との出会い」
ジョルジュ・スーラの作品から、美術の見方や考え方を学びます。



2・3上p.2-4「学びの実感と深まり」
葛飾北斎の浮世絵作品を中心として、さまざまな表現方法について考えます。



2・3下p.2-4「学びの探求と未来」
オラファー・エリアソンの作品から、美術の意味や社会とのつながりについて考えます。

育てたい生徒の姿

美術① 美術との出会い

「図画工作」から「美術」へと教科名が変わる中学1年生では、美術の楽しさや心を豊かにしてくれる世界を体験していきます。身の回りにあるものを形や色彩の視点から見つめ直すことで、新しい発見やイメージが広がることに気がきます。これまでにない見方や感じ方と出会いながら、自分らしさが形づくられていきます。

美術② 学びの実感と深まり

中学2年生では、作品への理解を深め、試行錯誤によって学びを実感することを目指します。幅広いジャンルの作品に触れながら、作者の意図や技法、表現の可能性について学びます。それまでの価値観が揺さぶられ、物事の本質を見いだそうとする姿勢が養われていきます。

美術③ 学びの探求と未来

中学3年生では、自己を掘り下げ、新しい価値を生み出していくことに挑戦します。さらに社会や環境の問題へと視野を広げ、美術の力で貢献する方法を学びます。自分の将来を見つめる時期、多様な価値観の存在を理解し、創造的な未来の在り方を探ります。

ねらい

1年生では、形や色彩などを手がかりに「なぜだろう」「どうしてだろう」という「問い」を生み出しながら、じっくりと向き合うことで、見方や感じ方を広げていきます。

2年生では、受け継がれてきた表現の特質、諸外国の美術や文化との相違点や共通点などに着目しながら鑑賞することで、作品への理解を深めるとともに、より幅広く生きて働く知識を身に付け、実感を持って見方や感じ方を深めていきます。

3年生では、現代的な作品のよさや魅力を読み解くことを通して、新しいものの見方や考え方を探求します。その際、作品が私たちに問い掛ける社会や環境の問題へと視野を広げ、美術の意味や社会とのつながりについて学び、創造的な未来の在り方についても考えを深めていきます。

表紙と巻頭オリエンテーションを使った授業開きの例



グランド・ジャット島の日曜日の午後
ジョルジュ・スーラ

導入(表紙)

感じたこと、発見したこと、疑問に思ったこと等を基にして友だちと対話して、新たな視点や考えに出会えます。

- 形や色彩に着目して、発見したことや疑問に思ったことを話し合ってみよう。
色鮮やかで明るい感じから、日曜日の午後って感じが伝わってくる。
- 作者がこだわりを持って表現したことは何だろう。形や色彩に着目して考えてみよう。
小さな無数の色の点で描かれている。どうしてこんな描き方をしたのだろう？

展開(巻頭オリエンテーション)

- 作者が大切にしたい表現意図や表現方法(描き方)を考えていきます。
気付いたこと、疑問に思ったことなどから作者の意図やこだわりを考えてみよう。
人物の配置や大きさなどにこだわっていて、絵の中で実験しているみたい。
- 作者はなぜ、小さな無数の点で絵を描いたのでしょうか？
他の画家と違った方法で描くことで、独自の表現を試行錯誤していたのかな。



「富士三十六景」より凱風快晴
葛飾北斎

富士山のイメージを簡単にスケッチすることで、北斎が富士山の魅力をどのように表現しようとしたのか、造形的な視点で考えていきます。

- 自分の中にある富士山のイメージを簡単にスケッチしてみよう。
富士山ってこんな形をしていたかな。
- 北斎が富士山の魅力をどのように表現しようとしたのか考えながら鑑賞してみよう。
北斎は赤く染まる富士山の魅力を、裾野や青空と対比することで、より一層、美しく表現している。

- 繊細で大胆な表現を実感を持って理解した上で、なぜ、版画として表現されたのかを考えていきます。
表紙の作品から魅力を感じた部分をトレースしてみよう。
単純な形に見えただけ、とても繊細な表現をしていることが分かるな。
- なぜ、この絵は版画として表現されたのだろうか。
版画にすることで、たくさんの人に見てもらおうと考えたのではないかな。



Tunnel of Light
マ・ヤンソン、ダン・チュン、早野洋介/MADアーキテクト

現代美術が、常識にとらわれない新しいものの見方や考え方で、創造的な未来の在り方を探求していることを確認します。

- マ・ヤンソンの作品のよさや魅力がどこにあるのか考えてみよう。
普段は気付かない日常の美しさや価値を、作品を体験することで再発見させてくれる。
- 作者は美術の力で何を伝えようとしていたのだろうか。
美術によって、地域や社会の新たな価値を創造している。

- エリアソンの作品鑑賞から、美術の意味や社会とのつながりについて考えを深めます。
エリアソンの作品は、私たちにどのように「問い」を投げ掛けているだろうか。
切実な環境問題について、体感できるように作品化されている。
- 表紙の作品も含めて美術の意味や、社会とのつながりについて考えてみよう。
問題提起や価値の創造など、社会とのつながりを問い掛けているようだ。

学年別の指導を考えた3分冊②

3年間の成長に寄り添った題材

各冊ごとに発達の段階を考慮した内容で、かつ系統立てられた題材設定をしています。
各学年の成長に応じたきめ細かい学習指導を可能にします。

TOPICS

2年生と3年生では成長の度合いが違う

美術科は、心の成長や知的な理解力の深まりとともに学びが変容していく教科です。中学2年生と3年生では成長の度合いに違いがあり、学習指導要領にも「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や、一題材に充てる時間数などについて十分検討すること」が新たに記載されました。本教科書は、発達の段階に即した3分冊構成で、各学年に応じた学習指導を行っていただけるように編集しています。

代表著者 村上尚徳先生

美術①
美術との出会い

1年生ならではの題材 身近なものを対象に

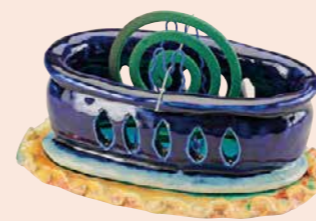


1p.14-15
「そのものらしさを形にして」
身近なものの「そのものらしさ」を捉えて表現する。

1p.18-19
「人間っておもしろい」
身近な人の人柄や印象を表現する。



1p.38-39
「つなげて広がる模様の世界」
形や色彩で生活を楽しく彩る作品。



1p.50-51「暮らしを彩る土の造形」
材料の特性を考えて、身の回りを使うものをつくる。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

スーラの表現への姿勢を学んだ後に「見つめて、感じて、描いて」や「なぜか気になる情景」等の描く活動につなげていくことで、表現の広がりが期待できます。さらに「色彩の基本・仕組み」の色彩の資料を活用して、スーラの表現方法をさらに深く学ぶことも考えられます。



1p.16-17「なぜか気になる情景」
見方を変えることで、身近な風景のよさを再認識する。



1p.12-13
「見つめて、感じて、描いて」
質感や色彩等、そのものの特徴を捉えて描く。

美術②
学びの実感と深まり

2年生ならではの題材 多様な表現に触れ、気付きや学びを実感



2・3上p.20-21
「イメージを形にすると」
感覚や感情等、形のないものを表現した作品。

2・3上p.32-35
「日本の技と心を受け継いで」
地域の美しさを表現した和菓子作品。



2・3上p.40-41
「ひと目で伝わるみんなのデザイン」
図や絵で情報を伝えるピクトグラムのデザイン。



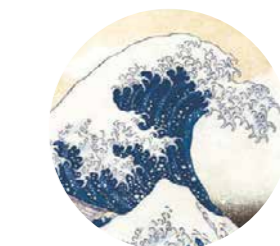
2・3上p.12-13「瞬間の美しさを形に」
人の動きの躍動感や緊張感を表現する。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

浮世絵の表現への興味・関心が高まったところで、学びを支える資料「北斎の大波」で、西洋絵画と比較鑑賞をします。比較することで日本美術の特色に着目させ、さらに「浮世絵っておもしろい」につなげることが考えられます。



2・3上p.56「北斎の大波」
ゴッホの作品と「神奈川沖浪裏」の表現方法を比較鑑賞する。



2・3上p.24-29「浮世絵っておもしろい」
浮世絵の表現のすごさを実感的に理解する。

美術③
学びの探求と未来

3年生ならではの題材 自分自身を見つめて、新たな価値の創造へ



2・3下p.9-13「わたし自身を見つめて」
自分と対話することで普段は気付かない気持ちを表現する。

2・3下p.46-47「住み続けられる町づくり」
美術の学びから環境問題の解決を考える。



2・3下p.20-21
「あなたのイメージを探そう」
形を単純化、強調することで、イメージの本質を表現しようとする。



2・3下p.40-41
「魅力を伝えるパッケージ」
商品の魅力が伝わるパッケージデザインを考える。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

美術によって「問い」を投げ掛ける視点から、「あの日を忘れない」や学びを支える資料「さまざまなアートに触れよう」を鑑賞することで、美術と社会のつながりについて考えを深めることができます。



2・3下p.24-29「あの日を忘れない」
災害や戦争などの衝撃的な出来事に対し、美術の力で何ができるのかを問い掛ける題材。



2・3下p.48-51
「さまざまなアートに触れよう」
全国のアートイベントを知る資料。

題材配列と系統性

小学校図画工作の学習からの連続性と、中学3年間の発達を考慮した題材配列により、確実な学びが保証されます。生徒の成長に応じて系統立てられた指導計画が作成できます。

小学校 図画工作

- 造形遊びをする活動
- 絵に表す活動
- 立体に表す活動
- 工作に表す活動
- 鑑賞する活動

	美術1	美術2・3上	美術2・3下
<p>表現</p> <p>鑑賞</p> <p>絵や彫刻など</p> <p>【A表現(1)ア・(2)】 対象を見つめて感じ取ったことを表現する</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p> <p>【A表現(1)ア・(2)】 夢、想像や感情などの心の世界を基に表現する</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p>	<p>見つけて、感じて、描いて</p> <p>なぜか気になる情景</p> <p>人間っておもしろい</p> <p>そのものらしさを形にして</p> <p>材料に命を吹き込む</p> <p>刷って楽しむ版画の世界</p> <p>墨と水が描く世界</p>	<p>瞬間の美しさを形に</p> <p>自由な視点で風景を見つめる</p> <p>写真表現の魅力</p> <p>しぐさで語る動物たち</p> <p>筆と水で多彩に表す</p> <p>イメージを形にすると</p>	<p>光に気持ちを込めて</p> <p>わたし自身を見つめて</p> <p>空想の中の不思議な世界</p> <p>あなたのイメージを探そう</p> <p>芸術としての漫画表現</p>
<p>表現</p> <p>鑑賞</p> <p>デザインや工芸など</p> <p>【A表現(1)イ(7)・(2)】 構成・装飾</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【A表現(1)イ(1)・(2)】 伝達</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【A表現(1)イ(9)・(2)】 用途・機能</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p>	<p>つなげて広がる模様の世界</p> <p>文字が生み出すイメージ</p> <p>形や色で伝えるシンボルマーク</p> <p>見るひとへ楽しく伝えよう</p> <p>暮らしの中の木の工芸</p> <p>暮らしを彩る土の造形</p>	<p>日本の技と心を受け継いで</p> <p>空間を彩る光の装飾</p> <p>思いが飛び出すカード</p> <p>ひと目で伝わるみんなのデザイン</p> <p>その1枚が心を動かす</p> <p>つくる・使う・材料を味わう工芸</p> <p>使う人の立場で考える</p>	<p>思いを込めた卒業記念品</p> <p>自分を表現する色</p> <p>魅力を伝えるパッケージ</p> <p>動きで伝えるメッセージ</p> <p>住み続けられる町づくり</p>
<p>鑑賞</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【B鑑賞(1)イ(7)】 生活の中の美術の働き</p> <p>【B鑑賞(1)イ(1)】 美術文化</p>	<p>絵の中にある物語</p> <p>自然の美しさから生まれた</p> <p>屏風、美のしかけ</p> <p>原始の美に出会う旅</p> <p>祭りを彩る造形</p>	<p>現代美術にザワザワザワッ!</p> <p>デザインのできる力</p> <p>浮世絵っておもしろい</p> <p>日本文化との出会い</p>	<p>あの日を忘れない</p> <p>デザインで地域を豊かに</p> <p>ルネサンスが目指したもの</p> <p>仏像の姿に見る人々の祈り</p> <p>どこまで修復すべきか</p>

日文的 ここがこだわり

体の負担を考慮して教科書を軽量化

教科書や教材等、中学生が毎日学校へ持っていく荷物は相当な重さです。私たちは成長期の体への負担を考慮して、教科書に使用する紙を、**従来通り再生紙の中でも良質な**

コート紙を選びながら、できるだけ軽いものを使用しました。各冊とも現行教科書と同じページ数で、それぞれ30~40g程度の軽量化を実現しています。

絵や彫刻題材の一例

情景画の題材では、1年生では主題を設定しやすいように**身近な風景**に着目させ、2年生では**視点の工夫**を考えさせ、3年生では光などの造形要素を意識することで、**自分の心情まで反映できる内容**となっている。

デザインや工芸の一例

伝達の題材は、各学年で複数設定しているため、実情に合わせて題材を選択することができる。例えば1年で**文字デザイン**、2年で図や絵で内容を伝える**ピクトグラム**を学び、3年生では、1、2年での学びを生かした**パッケージデザイン**を設定すると、生徒の学びもより確かなものに。

主題を生み出す 発想・構想の手立て

生徒の「やってみよう」を引き出し、自ら主題を生み出せる工夫をしています。
発想・構想に関する資質・能力を育み、生徒一人一人の表現の幅が広がるように配慮しています。

「自分ならば」という 意欲を引き出す情景写真

活動の様子が分かる写真を見ることで、「自分ならばこうしてみたい」との意欲を引き出すとともに、活動のヒントにもなるので、生徒が主体的に活動に取り組むことができます。



1p.10-11「絵や彫刻との出会い」



制作の情景写真で具体的な手立てを示す。

日文の
ここがこだわり

生徒の作品に向き合う眼差し 手の動きを意識して撮影

撮影では、生徒の制作の邪魔にならないように気を付けています。最初はあえて私がよく見えるように教室の前から全体を撮影して慣れてもらい、少しずつ近寄って作品や制作中の手元を撮影します。マスクで口元の表情が見えない分、生徒の作品に向き合う眼差しや制作中の手の動きを捉えるように意識して撮影しました。生徒の作品に向き合う真剣さがより印象的に感じられるのではないかと思います。

フォトグラファー
たむらひろみ
アーク・コミュニケーションズ
田村裕未さん

思考のプロセスが見える アイデアスケッチ

発想を引き出し、構想を深める手掛かりとなるアイデアスケッチを多数掲載しています。



1p.50-51
「暮らしを彩る土の造形」



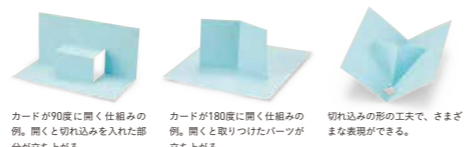
2・3下p.38-39
「自分を表現する色」

発想・構想の手掛かり 「表現のヒント」

全ての表現題材で、発想・構想の手掛かりとなる「表現のヒント」を掲載しています。発想・構想に関わる内容のほか、技能に関するヒントも掲載しています。

表現のヒント

いろんな仕組みを試してみよう
仕組みの違いによって、さまざまな動きが表現できる。まずは、どんな仕組みができるかを考えて、つくって試してみよう。その動きから、相手にどんな風に伝えるかイメージがわいてくるのではないだろうか。



2・3上p.36-37「思いが飛び出すカード」

表現の参考にする作品と 理解を深める作者の言葉

多彩な表現が分かる作家や生徒の作品、その作品の主題や工夫したポイントが示された作者の言葉を掲載しています。

作者の言葉

ぼくにとっての真夏はいつも短かったが、忘れられない思い出がいっぱいある。青空は時に悲しくもあり、あの人の人の顔が浮かんでくる。この絵はだれかの姿であり僕の姿でもある。

2・3上p.42-43
「その1枚が心を動かす」

作者の言葉

夏に使うものなので、すずしさを感ぜられるように青い琉璃釉を使っています。

1p.50-51
「暮らしを彩る土の造形」



2・3上p.20-21
「イメージを形にすると」

アーティストの制作過程や 授業で活用できる手立てを 発想・構想の資料に

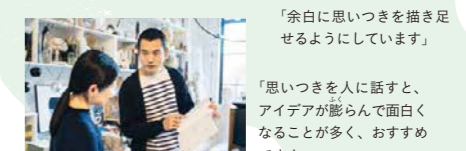
発想・構想に役立つ資料として、アーティストの鈴木康広さん、田中達也さんの制作過程と、中学生の造形活動に活用できる手立てを紹介しています。



1p.60-61「発想・構想の手立て②」
生徒が授業で活用できる具体的な手立てを多数提示している。

きっかけを探す

気になる物事に出会ったらすぐノートにスケッチ。「たまたま開いたページに描くので、目にする過去のアイデアにワクワクすることも」



1p.58-59「発想・構想の手立て①」
鈴木康広、田中達也

鈴木さんの制作過程の一部。
作家ならではの発想法が興味をひく。

全国の中学生が見つけた 身の回りの美しさを知る

中学生が身の回りで見つけて撮影した「私が見つけた美」を掲載しています。全国の中学生がどのようなことに美しさを感じ、どのように表現したのかが分かり、発想・構想が深められます。



2・3上p.5-7「あなたの美を見つけて」

主体的な活動を実現する 「学びを支える資料」

各冊の巻末に設定した資料ページは題材に対応し、生きて働く知識及び技能の習得が図れる構成になっています。先生の授業準備の負担軽減も考慮しています。

題材に対応した技法資料



2・3上「人物をつくる」技法の説明動画

動画で技法を確認できる

いつでもQRコンテンツで技法の流れを確認できるので、個別最適な学習に役立ちます。



1「水墨画の表現」技法の説明動画

技法
人物をつくる

人物の躍動感を表すには、多方向から観察し、体の傾きやねじれ、関節の位置を意識することが大切です。瞬間の美しい動きを見つけ、スケッチし、立体で制作しましょう。▶参照 P.12~13「瞬間の美しさを形に」

形をとらえる

躍動感のある動きの写真などを手本に、人物の骨格や動きを意識して、多方向からスケッチする。体の反りや傾き、ねじれを意識して、形をとらえ、動く方向を表現できる。

① デッサン人形アプリ
【コンピュータ/サイズ可変】
関節や筋肉の場所と形に注目し、体を伸ばす所と、力をためる部分を観察しよう。

② 資料を見よう

参考写真を用意する。ポーズをとって、正面と側面から撮影するとよい。

顔から足先までの体の傾きをよく観察し、多方向からスケッチする。

2・3上p.55「人物をつくる」



2・3上「人物をつくる」デッサン人形アプリ

デッサン人形アプリで動きを確認

画面上でデッサン人形を動かして、関節の動きや重心の位置等を確認することができます。

安全指導も細やかに

特に安全指導が必要な場面ではマークを示し、生徒への注意を促します。



注意しよう

針金の先でけがをしないよう、切ったらすぐにペンチで先を内側に丸めておきましょう。

2・3上p.55「人物をつくる」

Check! 技法動画の種類は
➡ 31ページをご覧ください。

日本色彩研究所監修の色彩資料

日本色彩研究所とは？

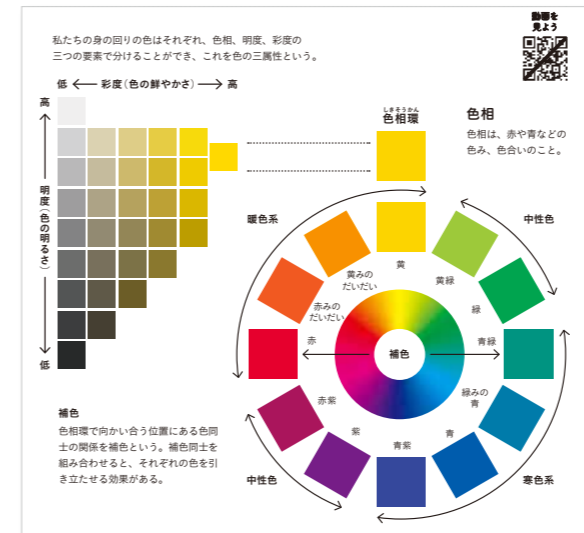
科学や心理学、芸術、教育など幅広い専門スタッフが在籍し、色彩に関する総合的な研究を行う日本で唯一の色彩に関する総合研究機関。

●日本色彩研究所の監修したページ

学年	内容	ページ
1	色彩の基本・しくみ	p.70-72
2・3上	日本の伝統色／色彩の特徴を深く知る	p.62-63
2・3下	世界の工芸品と色彩	p.59

見やすくなった色相環

視覚特性を持つ人も認識しやすいように配慮しています。



1p.70-72「色彩の基本・しくみ」

日本の伝統色や世界の色彩

暮らしの中に見られる日本や世界の色彩を分かりやすい図版を用いて掲載しています。



2・3上p.62「日本の伝統色」
季節や自然物から名付けられた意図を実感できる工夫をしている。

実感できる色の性質

色の持つ性質が、分かりやすい図版の例示によって実感的に理解できます。



内側の円は右の白丸の方が左の黒丸より大きく見え、外側の円は左の方が右より大きく見える。

1p.70-72「色彩の基本・しくみ」

多彩な図版で学びを深める鑑賞資料



2・3下p.54-55「絵巻物の世界」

絵巻物ならではの面白さ

「鳥獣人物戯画」を一例に、絵巻物の表現の面白さを実感できるように工夫しています。

検索窓

資料ページの奇数ページ下には「検索窓」を設定。掲載している内容に関連するキーワードを提示し、さらなる主体的な学びを促します。



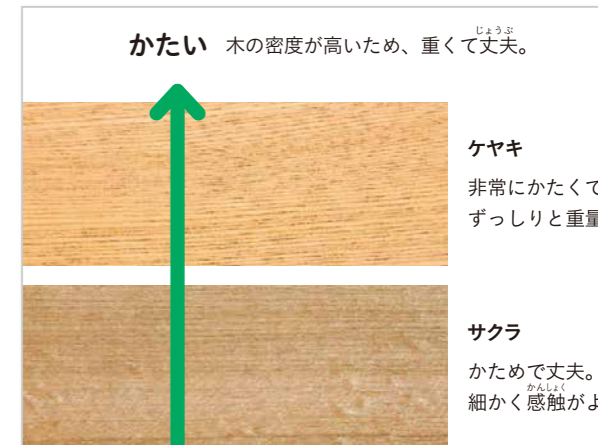
4ページで紹介する美術史年表

日本美術と世界の美術について、各時代の解説も交えながら紹介しています。

2・3上p.58-61
「日本美術と世界の美術の歩み」

材料への理解が深まる図版資料

作品だけでなく、材料についての知識を深められる図版資料も数多く掲載しています。



1p.66-67「木でつくる」

実感的理解を生み出す造本上の工夫①

折って立てられる屏風のしかけ

日文教科書では、生徒が知識を実感的に理解できるように造本上の工夫をしています。
美術1では両観音開きのページを使って、実際に折って立てて鑑賞できる屏風作品を掲載しています。

掲載作品は二つの国宝

A. 風神雷神図屏風



1p.24-29「屏風、美のしかけ」

B. 唐獅子図屏風

作品の詳細は
こちら

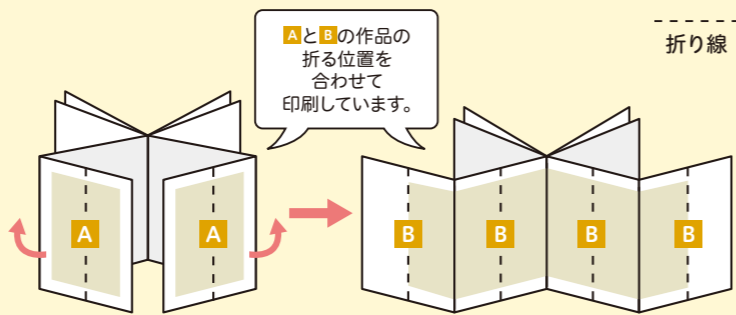
ColBase
(国立文化財機構所蔵品
統合検索システム)

かのうまいとく
狩野永徳が描いた16世紀の作品。折ること
で奥行きが出て、獅子の体が立体的に見え、
動きも感じられます。

たわらやそうたつ
俵屋宗達てんねが描いた17世紀の屏風
作品。折ることで風になびく天衣
等が立体的に見えます。

教科書で実際に お試ください。

両観音開きのページを閉じた状態では
A「風神雷神図屏風」が、両側にページを開くと、
4ページを使ってB「唐獅子図屏風」が
掲載されています。



各冊の両観音開きのページ(p.24~29)

学年	作品
1	A 風神雷神図屏風 B 唐獅子図屏風
2・3上	A 鑑賞題材「浮世絵っておもしろい」 B 「富嶽三十六景」より 神奈川沖浪裏(原寸大)、 三世大谷鬼次の奴江戸兵衛、 「婦女人相十品」より ポッピンを吹く娘
2・3下	A 誕生(全図、原寸大部分) B ゲルニカ

TOPICS

感動が実感できる図版の工夫

教科書では、折って鑑賞することで見え方が変わる「屏風」、
巧みな彫りや摺りが味わえる「高精細印刷の浮世絵」、細かい
描写が実感できる「原寸大図版」等を掲載し、「なるほど」
「わっ、すごい」等の実感的な理解を基に生徒の対話が生ま
れるように工夫しています。

代表著作者 村上尚徳先生

1 私も今日から中学生。これが美術の教科書かあ。

2 わあ、大きいなあ。

3 さっそうと折ってみよう。

4 でも教科書って折ってもいいんですか？

5 大丈夫、屏風の形は分かるかな？

6 折って立ててみるよ。本物に近い形で鑑賞できますよ。

7 あっ！ネコが立体的に見える！全然違う。

8 本物の教科書でも試してみてくださいね…。

9 夢か…。

令和7年4月

実感的理解を生み出す造本上の工夫②

高精細印刷の浮世絵ページ

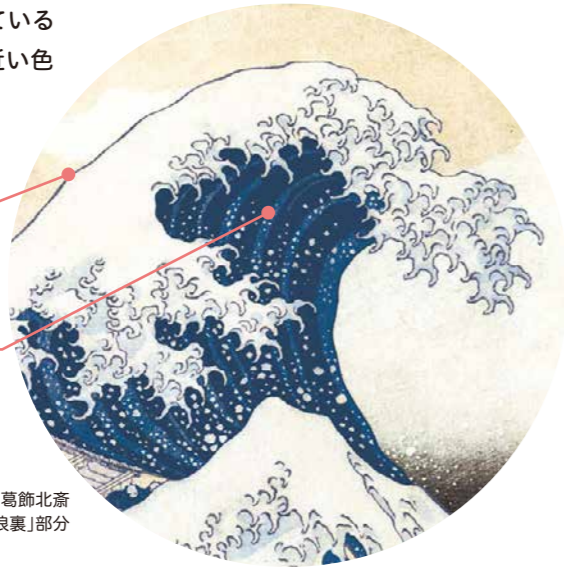
2・3上に掲載されている3作品の浮世絵は、特色インクと高精細印刷技術を用いて色味や細部の彫りの再現に努めています。 2・3上.p.24-29「浮世絵っておもしろい」

2色の藍の違いを鮮明に再現

「神奈川沖浪裏」で使用されている2種類の藍の違い等、実物に近い色味を感じることができます。

本藍
伝統的に使用されていた植物からつくられた藍。

ペロ藍(ベルリン藍)
海外から輸入された化学染料の藍。濃淡で波を表現。



葛飾北斎
「神奈川沖浪裏」部分

TOPICS

実物と遜色のない北斎ブルーを原寸大で

すみだ北斎美術館が所蔵している「神奈川沖浪裏」は、北斎が色味を監修した初摺の作品です。摺り始めから200枚程度を初摺と言い、本作はその前半の特にきれいに摺られたものです。実物は1年に1度しかお見せすることができませんが、日文教科書では、全く同じと言えるほどの印刷で鑑賞していただけます。

著作者 元すみだ北斎美術館館長
はしもとみつあき
橋本光明先生

日文のここがこだわり

北斎ブルー再現の舞台裏

より実物に近い色を出すために熟練の製版職人が何度も色を調整し、元すみだ北斎美術館館長の橋本先生と浮世絵研究者である内藤正人先生が色校正に関わりました。



藍の調子を出すためにインクを何度も練り直す。



刷り上がりを入念に確認。

彫りの線の細やかさが分かる

丹念に彫られた髪の毛の一本一本の線まで見ることができます。



喜多川歌麿
「ポッピンを吹く娘」部分
細かい髪の毛は、彫師が彫って表現。その技のすごさを実感できる。

TOPICS

江戸時代の人物画の見どころを再現

人物を描いた浮世絵は、髪の毛の生え際が見どころになっています。通常は、つぶれてしまう細かな部分なのですが、教科書では丁寧に印刷されていて、実物をイメージするにはとてもよいでしょう。当時の人と同じような感覚で作品を鑑賞することができます。

著作者 慶應義塾大学教授
ないとうまさと
内藤正人先生

実感的理解を生み出す造本上の工夫③

原寸大図版で大きさを体感

生徒が作品の大きさを実感できるとともに、細部の表現を鑑賞できるように、各分冊で原寸大の鑑賞画を掲載しています。

A4ワイド判型だから実現可能に

教科書はA4判よりも幅が2cm広いA4ワイド判です。見開き幅45.9cmとなり、火焰型土器はこの判型だからこそ原寸大での掲載が実現できました。



A4判型
A4ワイド判型

原寸大

原寸大表示を示すマーク。

原寸大鑑賞画

各学年で適切に配置しています。

学年	頁	作品名
1	p.3-4	グランド・ジャット島の日曜日の午後
	p.56-57	火焰型土器
2・3上	p.26-27	「富嶽三十六景」より神奈川沖浪裏
2・3下	p.25	誕生

1p.56-57「火焰型土器」部分



① 火焰型土器(部分/全体) 国宝
[陶土/高さ46.5cm×最大径43.8cm]
縄文時代中期
とのかまる
十日町市博物館蔵[新潟県]

360度で見よう



進度に合わせて学べる

QRコンテンツ

Check! 「学びのはじめに」は
→ 14・15ページをご覧ください。

資料動画や作品スライドショー、技法の説明動画等、全てのQRコンテンツは、
進度に応じた個別最適な学びに対応し、また協働的な学びに活用できる内容になっています。

表紙・巻頭オリエンテーション 鑑賞を深める動画

各冊の裏表紙には、表紙と巻頭オリエンテーションの作品に込められた作者の思いや、描かれた背景を紹介する動画を収録しています。作品への理解を深めるとともに授業開きでも活用できます。



美術1では表紙の作品「グランド・ジャット島の日曜日の午後」に使用された技法「点描」を、1年生で学ぶ「色の性質」と併せて解説。

著名人や作家のインタビュー 動画も豊富

2・3下の巻頭で登場した所ジョージさんのインタビュー動画や、作品が掲載されている作家のアーカイブ映像など豊富な映像資料で、生徒の興味をより高めることが期待できます。



岡本太郎や所ジョージさんをはじめ、紙面に登場した作家等のインタビューを多数掲載。

全国の生徒作品を鑑賞できる みんなの作品ギャラリー

各冊の奥付ページのQRコードからは、全国の生徒作品を見ることができます。活動に入る前や、活動の途中で作品づくりのヒントとして活用できます。



分野、テーマごとに整理されて、見たい作品を探しやすい。

表現の幅を広げる360度鑑賞

タッチ操作で、立体作品を見たい角度で鑑賞することができます。立体作品に重要な動勢や量感を捉えやすくなるため、表現活動の幅が広がります。

QRコンテンツ について

詳しくは
令和7年度版『中学校美術教科書』
内容解説資料(別冊) 教科書QRコンテンツ
～「個別最適な学び」のために～



縦方向、
横方向に動かして
見ることができる。



実際にご覧いただけます



美術1
101点



美術2・3上
46点



美術2・3下
35点

教科書QRコンテンツ一覧

頁	教科書の構成	題材名/資料タイトル	コンテンツ内容	種別
P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
全題材	全題材	全題材の本文	題材導入「学びのはじめに」 18点	動画
P.15	題材	題材	生徒作品「実りの中の異空間」	作品を360度回転して見られる画像
P.21	題材	題材	生徒作品「エサとりかまきり」	作品を360度回転して見られる画像
P.23	題材	題材	版表現の種類(凸版、凹版、孔版、平版)	資料動画
P.24	題材	題材	風神雷神図屏風	作品鑑賞動画
P.41	題材	題材	生徒作品「美味しい実」/ KOMA KOMA × 日文	アニメーション/アプリケーション
P.57	資料	火焰型土器	火焰型土器	作品を360度回転して見られる画像
P.59	資料	発想・構想の手立て①	鈴木康広さん「ファスナーの船」はこうして生まれた」/「ファスナーの船」のバラバランガ」	資料動画
P.59	資料	発想・構想の手立て①	田中達也さん「芯シティ」ほか2点	スライドショー
P.61	資料	発想・構想の手立て②	シンキングツール	アプリケーション
P.61	資料	発想・構想の手立て②	ものすごい図鑑 NHK for School	外部リンク
P.61	資料	発想・構想の手立て②	Google 3D/AR「ベンガルトラ」ほか28点	外部リンク
P.62	資料	どんなふうを描きたい?	鉛筆で描く(ハッチング、寝かせて描く、こする、ねり消して描く、水彩で描く)	技法の説明動画
P.62	資料	どんなふうを描きたい?	リンゴの絵(鉛筆、色鉛筆、透明水彩絵の具、不透明水彩絵の具)	スライドショー
P.63	資料	さまざまな技法で描く	スパッタリングほか8点	技法の説明動画
P.64	資料	木版画	彫刻刀の種類と特徴、下絵の転写、彫り進み版画、一版多色版画、彫刻刀の持ち方	技法の説明動画
P.64	資料	水墨画の表現	水墨画の準備、水墨画の技法	技法の説明動画
P.65	資料	文字の基本	文字のイメージ例として街中の文字8点	スライドショー
P.66	資料	木でつくる	木材加工のしかた(電動糸のこぎりの準備、葉研彫りほか7点)	技法の説明動画
P.68	資料	粘土でつくる	焼き物づくりの流れ、たまづくり、ひもづくり、板づくり	技法の説明動画
P.71-72	資料	色彩の基本・仕組み	三原色/色の三属性	資料動画
P.73	資料	美術館へ行く	美術館リンク集	外部リンク
P.75	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
裏表紙	裏表紙	裏表紙	グランド・ジャット島の日曜日の午後	作品解説動画
P.5	オリエンテーション	あなたの美を見つけて	生徒作品	スライドショー
P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
全題材	全題材	全題材の本文	題材導入「学びのはじめに」 17点	動画
P.10-11	題材	現代美術にザワザワザワ!	レアンドロ・エルリッヒ「スイミング・プール」/クワクポリョウタ「LOST #16」	スライドショー/資料動画
P.12	題材	瞬間の美しさを形に	生徒作品「面!!」	作品を360度回転して見られる画像
P.19	題材	小さく語る動物たち	生徒作品「魚を捕る白頭鷲」	作品を360度回転して見られる画像
P.36-37	題材	思いが飛び出すカード	パイパー・ウェンデル「誕生日のポップアップカード」/生徒作品「I wish you happiness!」	資料動画
P.42-43	題材	その1枚が心を動かす	「ヒロシマ・アビールズ」ポスター/「家でやろう。」ほか11点	スライドショー
P.50	資料	岡本太郎「芸術はみんなのもの」	岡本太郎のパブリックアート/EXPO'70 太陽の塔パーチャルツアー	作品鑑賞動画/資料動画
P.52	資料	暮らしに息づくパブリックアート	十和田市現代美術館のパブリックアート	スライドショー
P.54	資料	立体を描く	立体を描く(立方体を描く、球体を描く)	技法の説明動画
P.55	資料	人物をつくる	人物をつくる/デッサン人形アプリ	技法の説明動画/アプリケーション
P.56	資料	北斎の大波	葛飾北斎が描いた波の絵	作品鑑賞動画
P.57	資料	金属でつくる	金属加工のしかた(切る、打ち出す、溶かす)	技法の説明動画
P.63	資料	色彩の特徴を深く知る	配色のいろいろ	資料動画
P.65	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
裏表紙	裏表紙	裏表紙	「雷獄三十六景」より 凱風快晴	作品解説動画
P.5	オリエンテーション	社会に生きる美術の力	所ジョージさん、吉藤オリイさん、吉田ユニさんから中学生へのメッセージ	インタビュー動画/読み物
P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
全題材	全題材	全題材の本文	題材導入「学びのはじめに」 15点	動画
P.42	題材	動きで伝えるメッセージ	「私の心を離さない大村市(長崎県大村市移住・定住促進PR動画)」2点	動画
P.43	題材	動きで伝えるメッセージ	生徒作品	動画
P.44	題材	デザインで地域を豊かに	梅原真さんインタビュー/梅原真「栗山」ほか6点	インタビュー動画/スライドショー
P.48	資料	さまざまなアートに触れよう	芸術祭に行ってみよう	資料動画
P.51	資料	さまざまなアートに触れよう	加川広重さんインタビュー/加川広重「雪に包まれる被災地」	インタビュー動画/スライドショー
P.52	資料	動画で表現する	撮影や編集の技法/未来の博物館 四季をめぐる 高精細複製屏風	技法の説明動画/資料動画
P.54	資料	絵巻物の世界	鳥獣人物戯画 甲巻 ものすごい図鑑 NHK for School/ 絵巻物の見方	外部リンク/資料動画
P.61	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
裏表紙	裏表紙	裏表紙	Tunnel of Light	作品解説動画

美術1

美術2・3上

美術2・3下

生活や社会と 結びついた美術の学び

日文教科書では、生徒が美術の働きを実感的に理解し自らの生活に生かせるように、家庭や地域社会に結びついた事例を掲載しています。

美術の働きを実感できる 作品や場面を随所に

商品の魅力を伝えるパッケージのデザインを考える等、生活と結びつく題材を掲載しています。生活をより豊かにする美術の働きが実感できる事例も取り上げています。



2・3下p.40-41「魅力を伝えるパッケージ」
商品の魅力が伝わるパッケージデザインの工夫を考える。



2・3上p.46-47「使う人の立場で考える」
だれもが使いやすいデザインの工夫を考える。



1p.38-39「つなげて広がる模様の世界」
模様や色彩で、生活を豊かに彩ることを実感できる一例。

身の回りには、植物や動物の模様、幾何学模様など、さまざまな種類の模様の布や紙などがある。

美術の授業以外でも 身の回りの美しさに気付く工夫

授業以外でも身の回りの美しさを主体的に見つけようとする生徒の意欲的な表現や鑑賞活動を後押しします。



マリーゴールドの花言葉は「変わらぬ愛」、このお祭りがずっと続いたらいいな。

2・3上p.5-7「あなたの美を見つけよう」

中学生が見つけて撮影した身の回りの美しさを掲載。どこに美しさを見いだしたかが分かる「作者の言葉」が鑑賞を深める。



カーテンが、ふわふわしていて気持ちよさそう。

【角度と距離】 被写体に対するカメラの角度をアングルという。アングルや距離を工夫してみよう。



2・3上p.64「写真で表現する」

撮影の技法ページ。授業以外でも生徒が主体的に学ぶことができる個別最適な学びを目指している。

美術を通じた 地域社会とのつながり

各地域の伝統文化やアートイベント、地域の特色ある美術館等、美術に意識を向けるきっかけとなる事例を取り上げています。



びぜんやま
② 備前焼
[岡山県]

2・3下p.58「受け継ぐ伝統と文化」
伝統的工芸品の一例。



2・3下p.51「社会と関わる美術」
生徒作品が展示された地域のアートイベントの事例。



1p.73-74「美術館へ行こう」
全国の美術館の一例。



生徒の作品を、地元の和菓子店が商品化した和菓子。

生徒作品
⑩ 手のひらの安曇野
[彩色・加工粘土 / 2.8×4.5×6.3cm]
作者の言葉
地元の特産品であるわさびの花や葉をイメージしました。

2・3上p.32-35
「日本の技と心を受け継いで」
地域の魅力を和菓子のデザインで表現。

2・3下p.44-45
「デザインで地域を豊かに」
デザインの力で地域を活性化させる作品例。



2・3下p.51「社会と関わる美術」
東日本大震災直後の痛ましい災害の記憶と地域への思いを伝える作品例。

学校生活に生かされる美術の学び

日文教科書はカリキュラム・マネジメントの充実が図れるように、生徒の学びの広がりや知識のつながりにも配慮しながら、教科等を横断した活用がしやすい事例や題材を取り上げています。

特別活動で活用できる事例

文化祭や体育祭のポスター制作のヒントになる題材、修学旅行の学習でも参考にできる仏像の鑑賞題材等を掲載しています。



2・3上p.42-43
「その1枚が心を動かす」



2・3下p.56
「仏像の種類」
巻末の資料ページでは、仏像の種類について図解での説明を掲載し、見方が深まる工夫をしている。

2・3下p.32-33
「仏像の姿に見る人々の祈り」

総合的な学習の時間で活用できる事例

地域に関連した作品、歴史や伝統文化を知る題材を豊富に掲載し、社会参画の意識が高まる工夫をしています。



2・3下p.46-47
「住み続けられる町づくり」



1p.44-45
「形や色で伝えるシンボルマーク」

主な他教科との関連

国語科

古文の学習で参考になる伝統色を多数掲載。



(鮮やかな黄みの赤)

2・3上p.62「日本の伝統色」

社会科

「地理的分野」「歴史的分野」の授業で活用できる作品や年表を掲載。



2・3上p.56
「北斎の大波」

数学科

幾何学模様や連続模様を扱った題材を掲載。



②七宝つなぎ

1p.38-39
「つなげて広がる模様の世界」

技術・家庭科

動画編集のポイントなど技術分野の学習でも役立つ内容。



2・3下p.42-43
「動きで伝えるメッセージ」

Check! → 他教科と関連する題材一覧は48・49ページをご覧ください。

道徳との関連

「特別の教科 道徳」と特に関連するページには、内容項目に対応した文章を示し、生徒の意識を促しながら関連を図った学習ができるように配慮しています。

Check! 道徳に関連する題材一覧は48・49ページをご覧ください。

あなたの周りには、どんな人がいるのでしょうか。友だちや家族など、その人ならではのしぐさや表情を思い浮かべて、その人らしさは一体どこからきているのか、考えてみましょう。

人物を表すことは、理解し、その人に対するき合うことにもつながり人を改めて見つめ、あなたの気持ちまで表せるよう工夫しましょう。

道徳との関連 ▶ 温かい人間愛の精神を深め、ほかの人々に対し思いやりの心を持つ。

1p.18-19「人間っておもしろい」

TOPICS

道徳との関連がさり気なく心に残るように示されています

美術科は心豊かな生活を創造していくものであり、道徳教育と深く結び付いています。授業では、美術の学びの深まりが道徳性を養うという意識と積極的な関わりが大事になってきます。日文教科書は、道徳マークと適切な分量の関連する内容の言葉をページ下部に表記し、価値観の押し付けではない、さり気なく心に残る示し方をしています。



道徳教育に関する校閲
畿央大学大学院教授
しまつね お
島恒生先生

自分自身に関すること 3 題材



2・3下p.9-13
「わたし自身を見つめて」
自分の内面と向き合っ
て表現した作品。

人との関わりに関すること 6 題材



2・3上p.48-49「デザインのかでできること」
遠隔操作でコミュニケーションを可能とし、
さまざまな人の社会参画の可能性を広げる分身ロボット。

集団や社会との関わりに関すること 17 題材



2・3上p.40-41
「ひと目で伝わるみんなのデザイン」
地域の花火大会での注意を促す
ピクトグラム作品。

生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 7 題材



2・3上p.18・19
「しぐさで語る動物たち」
動物を慈しむ思いが
伝わる作品。

キャリア教育の観点

日文教科書では、美術を職業としている方、美術の学びを生かしながら多方面で活躍されている方々を多く掲載しています。生徒が美術の力を幅広く捉えて将来に生かせるように構成しています。

Check! キャリア教育に関連する題材一覧は
→ 48・49ページをご覧ください。

社会に生きる美術の学び

生徒にもなじみ深い著名人の言葉から、美術の学びが活躍に生かされていることが分かります。



「曲は色彩、
作詞はデッサン」

まつとうや ゆみ
松任谷由美さん
シンガーソングライター

1p.5「学びの言葉」



「遊びで育つ感性が
人生を豊かにする」
シンガーソングライター・タレント
所ジョージさん

2・3下p.5-7「社会に生きる美術の力」
ところ
所ジョージさん
シンガーソングライター・タレント

「つくり、遊べば、
そこから枝葉が広がり
人生が豊かになる」

美術の学びから広がるキャリア

美術の専門的なお仕事をされる3名の方のインタビュー記事を掲載。美術の仕事ならではの面白さが生徒の興味をひきます。

おさはらたかゆき
小佐原孝幸さん

デザイナー



1p.40-43「文字が生み出すイメージ」

文字デザインを考える時に意識する点や工夫についてをお話いただきました。

あらき
荒木かおりさん

彩色復元・絵師



2・3下p.34-35「どこまで修復すべきか」

文化財の彩色復元の仕事内容や、荒木さんの仕事に対する姿勢についてお話いただきました。

うめぼらまこと
梅原真さん

グラフィックデザイナー



2・3下p.44-45「デザインで地域を豊かに」

高知県を中心に仕事をされる梅原さんに地域を活性化させるデザインについてお話いただきました。

美術でつながる現代的な諸課題

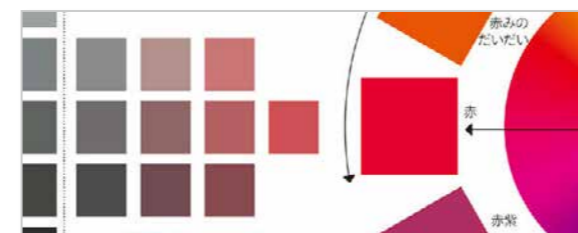
日文教科書では、インクルーシブ教育の観点での取り組みや持続可能な社会について考えられる題材や事例等、現代的な諸課題への対応を図っています。

1 インクルーシブ教育

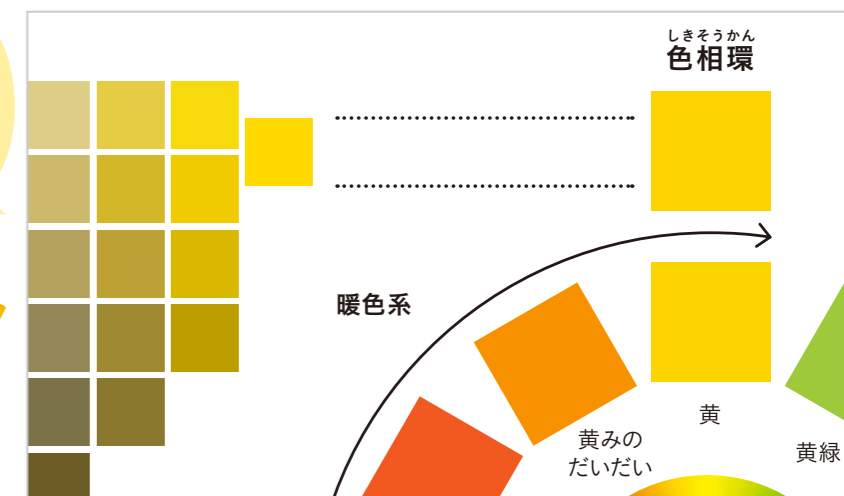
● 視覚特性への配慮

彩度と明度を示す図に用いる色味については、視覚特性を持つ人にも、より認識しやすい黄色を採用しています。

色彩ページは
一般財団法人
日本色彩研究所が
監修



令和3年度版教科書の色相環。



1p.70-72「色彩の基本・仕組み」

TOPICS

多様なニーズに応えた見やすい紙面です

全ページを通して、文字と背景のコントラストを意識し、頻出するマークの色はカラーユニバーサルデザインの観点で配慮するなど、色覚特性等の有無に関わらず、全ての生徒が等しく学べるよう、丁寧な編集がされています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。
1, 2・3上, 2・3下各裏表紙



特別支援教育・カラーユニバーサルに関する校閲
星美学園短期大学
日伊総合研究所客員研究員
おおうちすすむ
大内進先生

● 掲載作品に番号

掲載している作品に番号を明記することで、授業の中で、生徒への伝えやすさを考慮しています。



1p.38-39「つなげて広がる模様の世界」

● 多様性への配慮

教科書には、アール・ブリュットの作品をはじめとして、多様なアーティストによるさまざまな作品が美術館や作品展等に展示されている様子を掲載しています。生徒の共同制作も取り上げています。



2・3下p.50「多様性と共同制作」
商店街のアーケードを活用したアール・ブリュットの作品展。

美術でつながる現代的な諸課題

2 持続可能な社会(SDGsなど)

●SDGsのゴールを示す

生徒が持続可能な社会について考えられるようESDの観点に立った題材や事例、持続可能な開発目標(SDGs)を掲載しています。

11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

13 気候変動に具体的な対策を

題材ページに示された、
内容と関連するSDGsのゴール。



1、2・3上、2・3下各p.8「教科書の使い方」

美術の活動の中でも意識できるように、各学年の「教科書の使い方」にSDGsの目標を掲げた。題材ページでは、内容と関連するSDGsのゴールを示している。



2・3上p.46-47「使う人の立場で考える」

成長に合わせて座り方や高さを調整できるようにすることで、長く使用できるいすのデザイン。



アイス・ウォッチ[氷/サイズ可変]2018
テート・モダンでの展示【イギリス】
オラファー・エリアソン、ミニック・ローゼンク[デンマーク・1957~]

2・3下p.2-4
「学びの探求と未来」
目の前で氷が溶けていくのを見ることで、地球温暖化の問題を体感させる展示。

●環境へ配慮した題材

自然との共生や、環境と美術との関係について考える題材を各学年に掲載しています。



2・3下p.46-47「住み続けられるまちづくり」

教科書での
環境への配慮



環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。
1、2・3上、2・3下各裏表紙

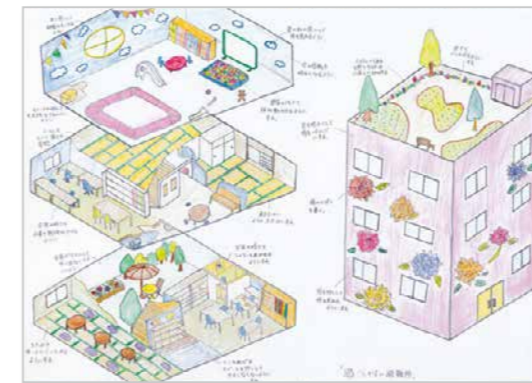
SDGsの
観点について

詳しくは
令和7年度版『中学校美術教科書』
内容解説資料(別冊)
持続可能な世界をつくるために



●防災・安全に配慮

防災や安全に関わる作品を掲載しています。
また防災研究の専門家の先生に、教科書の
全面的な校閲をお願いしています。



2・3下p.46-47「住み続けられるまちづくり」



2・3上p.40-41
「ひと目で伝わるみんなのデザイン」

●多文化共生を意識した 作品や活動



文化的違いを理解できるように諸外国の生徒作品や美術作品を掲載しています。また、友だち同士でお互いを尊重し合えるように、共同制作の事例も紹介しています。



1p.18-19「人間っておもしろい」



2・3下p.50「多様性と共同制作」

3 伝統文化

日本の伝統文化や、地域の伝統的な工芸品を取り上げた題材を各学年に配置しています。



2・3上p.32-35
「日本の技と心を
受け継いで」



1p.24-29「屏風、美のしかけ」

4 AIや最先端技術の扱い

AI(人工知能)をはじめとする最先端技術について、美術での取り組み等を紹介しています。



2・3下p.52-53「動画で表現する」
AI技術も取り入れて作成された高精細複製屏風のプロジェクトマッピング。

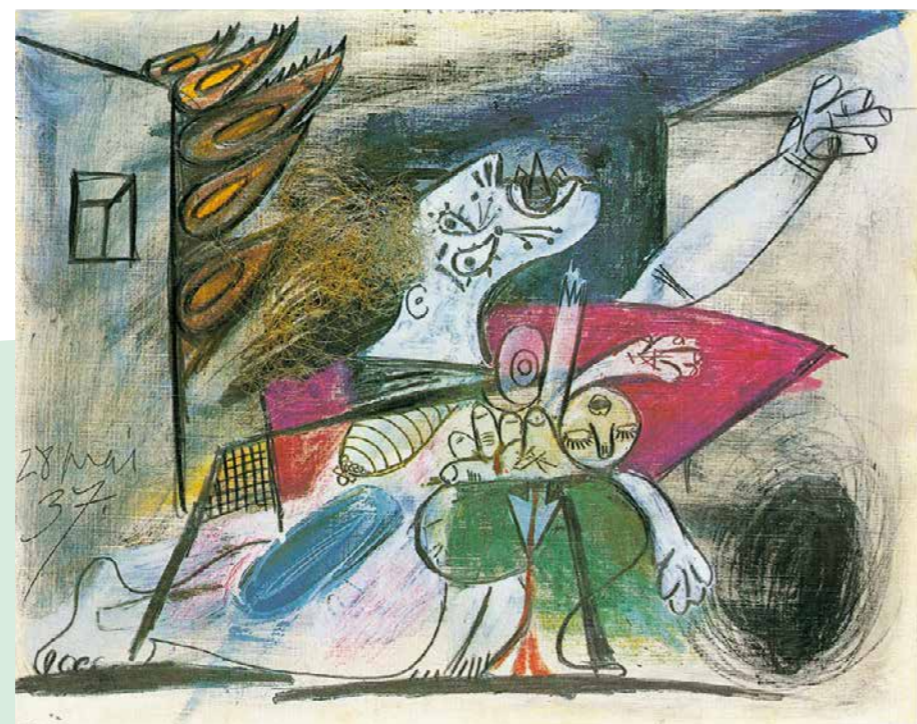
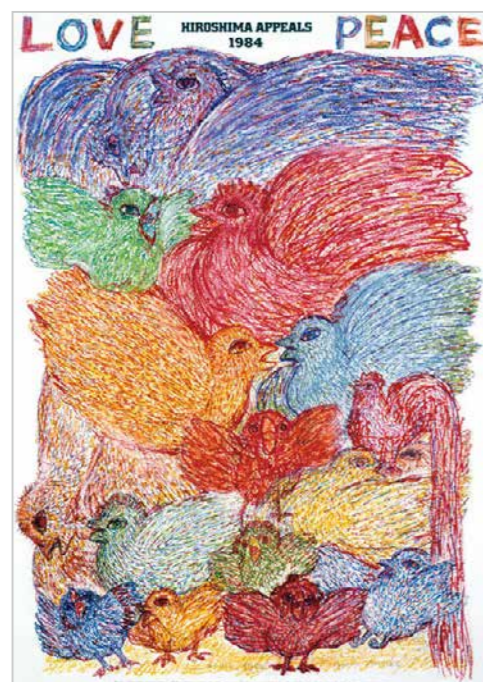
2・3上p.48-49
「デザインのかでできること」
遠隔操作で対話できる分身ロボット。



美術でつながる現代的な諸課題

5 平和・人権

自然災害や戦争といった衝撃的な出来事を描いた作品を扱う題材、人類が抱えるさまざまな課題を美術の力で解決を考える平和や人権等につながる題材を設定しています。



2・3下p.24-29「あの日を忘れない」
「ゲルニカ」とともに、ピカソが衝撃的な出来事を表現するために何枚も試作を重ねたうちの1枚を掲載。

2・3上p.42-43「その1枚が心を動かす」
核兵器廃絶を願うポスタープロジェクト「ヒロシマ・アピールズ」の作品。



2・3上p.48-49
「デザインのできること」



2・3下p.24-29「あの日を忘れない」
東日本大震災をきっかけに描かれた池田学「誕生」。

6 言語能力の育成

全ページにわたって友だちと対話しながら鑑賞する情景写真を掲載し、言語活動を促しています。また感じたことや考えたことを、絵とともに言語化してまとめた作品等も多く掲載しています。



今にも動きそう!

1p.60-61「発想・構想の手立て②」
協働的な学びの指導の参考にもなる情景写真。



1p.46-47
「見るひとへ楽しく伝えよう」

7 情報活用能力の育成と情報モラル

表現や鑑賞の活動の中で、情報機器を活用することで情報活用能力の育成が図れるようにしています。またICTを活用する際に必要となる情報モラルや著作権、肖像権について説明しています。

注意! 作品について注意しよう

美術作品や写真などの創作物には、不正な複製などを禁じ、作者の権利を守る著作権が定められています。作品の図版などを利用する際は注意しましょう。

1、2・3上、2・3下各p.8「教科書の使い方」



2・3上p.18-19「しくさで語る動物たち」
動物の立体作品の発想・構想で3Dモデリングソフトを活用した事例。

注意! 注意しよう

撮影禁止の場所では撮影しないようにしましょう。また人の顔を無断で撮影・公開すると、プライバシー権や肖像権の侵害になります。

2・3下p.42-43「動きで伝えるメッセージ」

8 問題発見・課題解決能力の育成

デザインや工芸分野では、プログラミング的思考にもつながるように、制作過程で問題を発見し、試行錯誤しながら解決する力をつけることを意識した題材を設定しています。

表現のヒント

新商品パッケージプロジェクト
菓子や飲み物など、さまざまなパッケージから、中身が魅力的に伝わるよう、形や色彩などを工夫して、グループでパッケージを考えよう。

パッケージを調べる
さまざまなパッケージについて、特徴やイメージをグループで話し合う。

企画書を作成する
つくりたいイメージをもとに、アイデアスケッチを作成する。

イメージや構想を発表し合う
アイデアスケッチをもとに、パッケージの工夫した点を発表し合う。

2・3下p.40-41「魅力を伝えるパッケージ」

さらに充実した

使いやすい指導書を目指して

※本ページで紹介する内容は開発中のため、記載の内容・画像は予告なく変更する場合があります。

教師用指導書のご案内

先生に安心して授業に取り組んでいただけるように、使いやすい教師用指導書を用意しています。

日々の授業づくりから題材開発や研究にまで活用できるように、ニーズに合わせた多様な資料をご提供します。

セット内容

朱書編

授業の準備はもちろん、教科書紙面を通して指導の流れや評価の観点等から授業づくりが明確になり、この一冊で授業がイメージできる内容となっています。

研究・指導編

教科書に掲載されている作品を中心に、題材に関連する指導案をまとめています。授業研究をさらに深めたい時に役立ちます。

大判鑑賞画

教科書題材に関連した作品を揃えたA1サイズの鑑賞画です。美術室に掲示しておくことで、生徒に主体的な鑑賞を促すこともできます。

大判掛図

表現活動の技法や発想・構想に役立つA1サイズの掲示用資料です。学習や活動のヒントにできるように美術室に掲示してご活用ください。

指導者用デジタル教材

指導者用デジタル教科書

専用の教科書ビューアを起動して利用できます。

美術ワークシート

教科書全題材に関連したワークシートのデータ集です。授業の導入、展開、まとめの各場面で利用できます。

動画コンテンツ

教科書掲載作家や作品、題材に関連した動画コンテンツです。

クラウド配信を予定していますので、Windows・Chromebook・iPadなどの多様な機種で標準ブラウザを使用した閲覧が可能です。

朱書編

指導に直結！授業づくりがより明確な内容にグレードアップ！

準備

授業展開

評価

授業の準備はもちろん、教科書紙面を通して指導の流れや評価の観点等から授業づくりが明確になり、この一冊で授業がイメージできる内容となっています。



①教科書QRコンテンツ

教科書に掲載されたQRコンテンツの内容を確認できます。

⑤指導のポイント

生徒の意欲の引き出し方やICT機器の活用方法等、題材のねらいを達成するための手立てや工夫を紹介しています。

②そのほかの指導書への参照リンク

指導書のほかの媒体に掲載されている関連する内容を参照できます。

⑥作家作品・生徒作品

掲載されている作家・生徒作品について解説しています。

③ページのねらい

この題材の活動を通じて育てたい資質・能力や、生徒に気付いてほしい(共通事項)の観点を解説しています。

⑦作家情報

掲載作家に関する情報を掲載しています。

④題材の評価規準の例

題材の評価規準例を3観点6項目で示しています。

⑧教科書でつくる学習の流れ

教科書に掲載されている〈鑑賞の入り口〉、〈造形的な視点〉、〈表現のヒント〉を活用した授業の流れを示しています。

研究・指導編

プラスαの実践例が豊富です！

授業
展開

評価

教科書に掲載されている作品を中心に、題材に関連する指導案をまとめています。授業研究をさらに深めたい時に役立ちます。

① 題材の概要

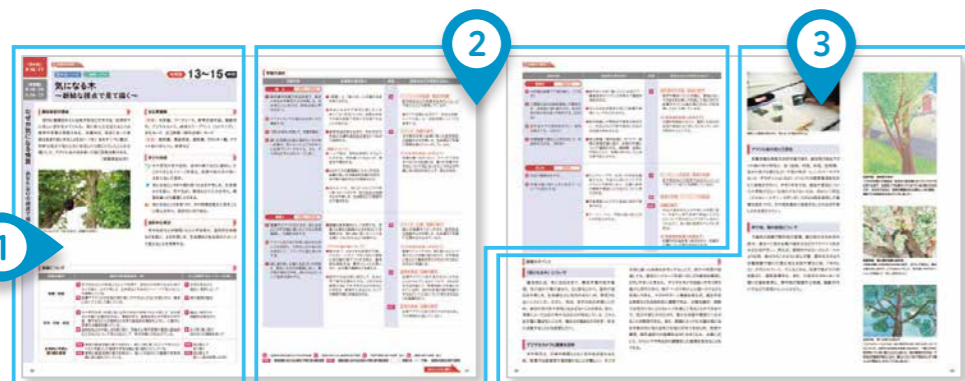
題材設定の理由、準備物、目標と評価等題材の概要をまとめています。

② 学習の流れ

授業の具体的な流れとともに、指導者の働き掛けの例示なども掲載しています。

③ 指導のポイント

実践者の指導の工夫を紹介しています。生徒の作品例も掲載しています。



大判鑑賞画

美術室に掲示して、いつでも作品と出会えます！

資料

鑑賞

教科書題材に関連した作品を揃えたA1サイズの鑑賞画です。美術室に掲示しておくことで、生徒に主体的な鑑賞を促すこともできます。



大判掛図

基本的な情報を常に確認しやすくなります！

資料

発想
構想

表現活動の技法や発想・構想に役立つA1サイズの掲示用資料です。学習や活動のヒントにできるように美術室に掲示してご利用ください。



指導者用デジタル教科書(教材)

タブレットを活用してますます便利に！

授業
展開

評価

指導者用デジタル教科書、動画コンテンツ、美術ワークシート等授業の各場面で活用できる資料を揃えました。

指導者用デジタル教科書

専用の教科書ビューアを起動して利用できます。プロジェクターや電子黒板等を使用して、教科書紙面を大きく掲示することもできます。



動画コンテンツ

教科書掲載作家や作品、題材に関連した動画コンテンツを予定しています。学びをさらに深める場面で活用できます。



美術ワークシート

1題材ごとに「導入」「展開」「まとめ」の3シートで構成されています。授業の進度に合わせて使用できます。先生がつくり替えて使用できるデータも用意しています。



拡大教科書のご案内

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は、通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように、写真が図版の配置も再レイアウトしたものです。

※こちらは教師用指導書とは別の媒体として発行いたします。

学習者用 デジタル教科書のご紹介

本製品は開発中のため、記載の内容・画像は予告なく変更する場合があります。

一人一台端末で利用する「学習者用デジタル教科書」、学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができる「学習者用デジタル教材」を発行します。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。

学習者用デジタル教科書

① いつでも拡大、 いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。

② 充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更（リフロー機能）、本文の音声読み上げ、総ルビ表示など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人一人の特性に合った学習をサポートします。



背景色の変更



リフロー機能



音声読み上げ



③ 多様な利用環境に対応

Windows/Chromebook/iPadの3種に対応しています。また、各種マニュアルや動画での解説、実践事例の紹介等、役立つ情報をデジタル教科書専用のホームページにてご提供し、授業をサポートします。

令和7年度版
中学校デジタル教科書サポートサイト
詳しくは47ページをご参照ください。

日文Webサイトの ご案内

日文Webサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つさまざまな情報を積極的に発信しています。

指導に役立つ
コンテンツが満載!

定期
更新中

中美チュービ
中学校美術の先生応援サイト



令和7年度版 中学校教科書 特設サイト

令和7年度から使用される新しい中学校教科書『中学社会 地理的分野』『中学社会 歴史的分野』『中学社会 公民的分野』『中学数学』『美術』『中学道徳 あすを生きる』をご案内しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/r7js_textbooks/

① 内容紹介動画

教科書やQRコンテンツのポイントを短く簡潔に動画で紹介します。

② 教科書のポイント

教科書の特長をポイント別に分かりやすく紹介します。

③ 教科書QRコンテンツ

いろいろなコンテンツをご覧いただけます。

④ 教師用指導書

各種指導書の内容や構成を紹介します。

⑤ 資料ダウンロード

内容解説資料、編修趣意書、年間指導計画案等を掲載します。

⑥ 表紙

各学年の表紙と、表紙デザインへ込めた思いを紹介いたします。

⑦ 関連コンテンツ

教科書に関連するさまざまなお役立ちコンテンツを紹介いたします。

⑧ 日文が大切に していること

SDGs、特別支援教育・CUD、防災・安全、道徳教育との関連、現代的な諸課題への対応など、教科を横断する取り組みについて紹介いたします。

令和7年度版 中学校デジタル教科書サポートサイト

令和7年度から使用される新しい中学校デジタル教科書を中心にご案内しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/digital_support3/

- 基本機能からオリジナルツールまで分かりやすく紹介します。
- 指導者用・学習者用の内容や特長等を詳しく紹介します。
- 体験版でデジタル教科書の実際の動作やコンテンツを体験できます。

そのほかのおすすめコンテンツ

日文Webサイトの数あるおすすめコンテンツの中から、今回は二つピックアップします。

WEBマガジン「まなびと」

美術、道徳、社会、人権、共生社会、ESD、PBL、ICTなど、さまざまなテーマにおいて深掘りした連載記事を中心に、定期的にご更新しています。

まなびと
子どもを想う
大人たちへ贈る
Webマガジン



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/web-magazine/manabito/>

機関誌・教育情報

教科の機関誌、授業や指導に悩む先生方へ向けたABCシリーズ、さまざまなテーマを扱った教授用資料等を電子ブックやPDFで公開しています。



<https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/>

教科書構成一覧

- 表現する活動を主にした活動
- 鑑賞する活動を主にした活動
- オリエンテーション
- 国 国語と関連する題材
- 社 社会と関連する題材
- 数 数学と関連する題材
- 理 理科と関連する題材
- 音 音楽と関連する題材
- 保 保健体育と関連する題材
- 技 技術と関連する題材
- 家 家庭と関連する題材
- 外 外国語と関連する題材
- 総 総合的な学習の時間と関連する題材
- 特 特別活動と関連する題材
- 道 道徳と関連する題材
- キ キャリア教育に関連する題材
- SDGs に関連する題材

美術1 美術との出会い					
頁	分野	題材名	学習指導要領との関連		[共通事項]
			A表現	B鑑賞	
表紙					
1		グランド・ジャット島の日曜日の午後 ジョルジュ・スーラ		(1)ア(フ)	
オリエンテーション					
2-4	●	美術との出会い【原寸大】		(1)ア(フ)イ(フ)イ	(1)ア、イ
5	●	目次・学びの言葉 松任谷由美 音(キ)		(1)ア(フ)イ(フ)イ	(1)ア、イ
6-7	●	ようこそ美術の学びへ	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
8	●	教科書の使い方			(1)ア、イ
9	●	鑑賞との出会い		(1)ア(イ)イ(フ)イ	
絵や彫刻など					
10-11	●	絵や彫刻との出会い	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
12-13	●	見つめて、感じて、描いて	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
14-15	●	そのものらしさを形にして	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
16-17	●	なぜか気になる情景	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
18-19	●	人間っておもしろい 道	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
20-21	●	材料に命を吹き込む 総	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
22-23	●	刷って楽しむ版画の世界	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
24-29	●	屏風、美のしかけ 道		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
30-31	●	墨と水が描く世界 道	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
32-33	●	絵の中にある物語 道		(1)ア(フ)	
34-35	●	原始の美に出会う旅 社(道)		(1)ア(イ)イ(イ)	
デザインや工芸など					
36-37	●	デザインや工芸との出会い	(1)イ(フ)イ(イ)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)イ(イ)	
38-39	●	つながる広がる模様の世界 数	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
40-43	●	文字が生み出すイメージ 国(キ)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
44-45	●	形や色で伝えるシンボルマーク 社(道)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
46-47	●	見るひとへ楽しく伝えよう 外	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
48-49	●	暮らしの中の木の工芸 技(道)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
50-51	●	暮らしを彩る土の造形 家	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
52-53	●	自然の美しさから生まれた 数(理)道		(1)ア(イ)イ(フ)	
54-55	●	祭りを彩る造形 道		(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
学びを支える資料					
56-57	鑑賞	火焔型土器【原寸大】 社(道)		(1)ア(フ)イ(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
58-59	表現 鑑賞	発想・構想の手立て①/ 鈴木康広、田中達也 総(キ)	(1)ア、イ(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
60-61	表現 鑑賞	発想・構想の手立て② 総	(1)ア、イ(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
62	技法	どんなふうを描きたい?	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)	(1)ア、イ
63	技法	さまざまな技法で描く	(2)ア(フ)イ(イ)		
64	技法	木版画/水墨画の表現	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
65	技法	文字の基本	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
66-67	技法	木でつくる 技	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
68-69	技法	粘土でつくる	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)イ(イ)	(1)ア、イ
70-72	色彩	色彩の基本・仕組み	(1)ア(フ)イ(フ)イ(イ)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)イ(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
73-74	鑑賞	美術館へ行こう 総(キ)	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)イ(フ)	(1)ア、イ

美術2・3上 学びの 実感と深まり					
頁	分野	題材名	学習指導要領との関連		[共通事項]
			A表現	B鑑賞	
表紙					
1		「富嶽三十六景」より 凱風快晴 葛飾北斎 道		(1)ア(フ)	
オリエンテーション					
2-4	●	学びの実感と深まり 社(道)		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
5-7	●	目次・あなたの美を見つけて 道	(1)ア(フ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
8	●	教科書の使い方			(1)ア、イ
絵や彫刻など					
9-11	●	現代美術にザワザワザワッ! 道		(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
12-13	●	瞬間の美しさを形に 理(探)	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
14-15	●	自由な視点で風景を見つめる	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
16-17	●	写真表現の魅力	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
18-19	●	小さく語る動物たち 道	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
20-21	●	イメージを形にすると	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
22-23	●	筆と水で多彩に表す 道	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
24-29	●	浮世絵っておもしろい【原寸大】 社(道)(キ)		(1)ア(フ)	(1)ア、イ
30-31	●	日本文化との出会い 社(道)		(1)ア(フ)	(1)ア、イ
デザインや工芸など					
32-35	●	日本の技と心を受け継いで 総(道)(キ)	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
36-37	●	思いが飛び出すカード 国(総)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
38-39	●	空間を彩る光の装飾 総	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
40-41	●	ひと目で伝わるみんなのデザイン 家(道)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
42-43	●	その1枚が心を動かす 国(道)(総)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
44-45	●	つくる・使う・材料を味わう工芸	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
46-47	●	使う人の立場で考える 道(総)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
48-49	●	デザインの力でできること 道(総)		(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
学びを支える資料					
50-51	鑑賞	岡本太郎“芸術はみんなのもの” (キ)		(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
52-53	鑑賞	暮らしに息づくパブリックアート 総		(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
54	技法	立体を描く/遠近感を表す 数	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
55	技法	人物をつくる	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
56	鑑賞	北斎の大波 社		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
57	技法	金属でつくる	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
58-61	鑑賞	日本美術と世界の美術の歩み 社		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
62	色彩	日本の伝統色 国		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
63	色彩	色彩の特徴を深く知る		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
64	技法	写真で表現する 総(特)	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ

美術2・3下 学びの探求と未来					
頁	分野	題材名	学習指導要領との関連		[共通事項]
			A表現	B鑑賞	
表紙					
1		Tunnel of Light マ・ヤンソン、ダン・チュン、 早野洋介/MADアーキテクト 道		(1)ア(フ)イ(フ)	
オリエンテーション					
2-4	●	学びの探求と未来 道(総)		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
5-7	●	目次・社会に生きる美術の力 道(キ)		(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
8	●	教科書の使い方			(1)ア、イ
絵や彫刻など					
9-13	●	わたし自身を見つめて 総(道)(キ)	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
14-15	●	芸術としての漫画表現 外(道)	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
16-19	●	空想の中の不思議な世界	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
20-21	●	あなたのイメージを探そう 総	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
22-23	●	光に気持ちを込めて	(1)ア(フ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
24-29	●	あの日を忘れない【原寸大】 総(道)		(1)ア(フ)	(1)ア、イ
30-31	●	ルネサンスが目指したもの 社(道)		(1)ア(フ)	(1)ア、イ
32-33	●	仏像の姿に見る人々の祈り 社(特)道		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
34-35	●	どこまで修復すべきか 国(特)道(キ)		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
デザインや工芸など					
36-37	●	思いを込めた卒業記念品	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
38-39	●	自分を表現する色 理(家)道	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
40-41	●	魅力を伝えるパッケージ 総	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
42-43	●	動きで伝えるメッセージ 技(総)特	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
44-45	●	デザインで地域を豊かに 社(総)道(キ)総		(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
46-47	●	住み続けられる町づくり 道(総)	(1)イ(イ) (2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(イ)イ(フ)	(1)ア、イ
学びを支える資料					
48-51	鑑賞	さまざまなアートに触れよう 総(総)		(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
52-53	技法	動画で表現する 総(特)	(2)ア(フ)イ(イ)	(1)ア(フ)イ(フ)	(1)ア、イ
54-55	鑑賞	絵巻物の世界 国		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
56	鑑賞	仏像の種類/美術文化の継承 社(特)		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
57	鑑賞	日本の世界文化遺産 社(特)		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
58	鑑賞	受け継ぐ伝統と文化 総		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
59	色彩	世界の工芸品と色彩 外		(1)ア(フ)イ(イ)	(1)ア、イ
オリエンテーション					
60		あなたへ 明日への巣立ち			(1)ア、イ

年間指導計画例

- 年間授業時間数を通年して平均的に配当した場合を示しました。2・3学年については、2年生で上巻、3年生で下巻を使用する例を掲載しています。
 - ここに示した配当時間や指導計画は一例です。学校の実情に応じて、配当時間の調整や指導計画の作成をなさってください。
- オリ…オリエンテーション 絵・彫…絵や彫刻など デ・工…デザインや工芸など 鑑賞…鑑賞題材 資料…学びを支える資料
※の題材は鑑賞題材として扱います。

■ 2 期制

美術 1 (第1学年)							
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (45)		
前期 (23時間)	4	表紙 2-4	オリ	美術との出会い	1		
		6-7	オリ	ようこそ美術の学びへ			
		8	オリ	教科書の使い方			
	9	9	鑑賞 オリ	鑑賞との出会い 心が動く瞬間	1		
		32-33	鑑賞	絵の中にある物語			
		5	オリ	学びの言葉 松任谷由実			
	後期 (22時間)	10	10-11	絵・彫 オリ	絵や彫刻との出会い 自分の表現をめざして	1	
			58-59	資料	発想・構想の手立て① 鈴木康広、田中達也		
		7	60-61	資料	発想・構想の手立て②	1	
			12-13	絵・彫	見つめて、感じて、描いて		
		3	62	資料	どんなふうに描きたい?	6	
			70-72	資料	色彩の基本・仕組み		
16-17			絵・彫	なぜか気になる情景	7		
36-37			デ・工 オリ	デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに			
9			52-53	鑑賞	自然の美しさから生まれた		1
			38-39	デ・工	つなげて広がる模様の世界		
	34-35		鑑賞	原始の美に出会う旅			
	56-57		資料	火焰型土器			
10	40-43	デ・工	文字が生み出すイメージ	4			
	65	資料	文字の基本				
	50-51	デ・工	暮らしを彩る土の造形				
	68-69	資料	粘土でつくる				
24-29	鑑賞	屏風、美のしかけ	1				
	46-47	デ・工		見るひとへ楽しく伝えよう			
3	20-21	絵・彫	材料に命を吹き込む	6			

■ 3 学期制

美術 1 (第1学年)						
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (45)	
1 学期 (16時間)	4	表紙 2-4	オリ	美術との出会い	1	
		6-7	オリ	ようこそ美術の学びへ		
		8	オリ	教科書の使い方		
	9	9	鑑賞 オリ	鑑賞との出会い 心が動く瞬間	1	
		10-11	絵・彫 オリ	絵や彫刻との出会い 自分の表現をめざして		
		5	オリ	学びの言葉 松任谷由実		
	2 学期 (17時間)	7	58-59	資料	発想・構想の手立て① 鈴木康広、田中達也	1
			60-61	資料	発想・構想の手立て②	
		12-13	絵・彫	見つめて、感じて、描いて	6	
			62	資料		どんなふうに描きたい?
		70-72	資料	色彩の基本・仕組み	1	
			32-33	鑑賞		絵の中にある物語
16-17			絵・彫	なぜか気になる情景		
36-37			デ・工 オリ	デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに		
9		52-53	鑑賞	自然の美しさから生まれた	1	
		38-39	デ・工	つなげて広がる模様の世界		
	34-35	鑑賞	原始の美に出会う旅			
	56-57	資料	火焰型土器			
10	40-43	デ・工	文字が生み出すイメージ	4		
	65	資料	文字の基本			
	50-51	デ・工	暮らしを彩る土の造形			
	68-69	資料	粘土でつくる			
12	68-69	資料	粘土でつくる	6		
	24-29	鑑賞	屏風、美のしかけ			
1	46-47	デ・工	見るひとへ楽しく伝えよう	5		
	20-21	絵・彫	材料に命を吹き込む			
3	20-21	絵・彫	材料に命を吹き込む	6		

■ 2 期制

2・3 上 (第2学年)							
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (35)		
前期 (17時間)	4	表紙 2-4	オリ	学びの実感と深まり	1		
		5-7	オリ	あなたの美を見つけて			
		8	オリ	教科書の使い方			
		9-11	鑑賞	現代美術にザワザワザワッ!			
		50-51	資料	岡本太郎“芸術はみんなのもの”			
		14-15	絵・彫	自由な視点で風景を見つめる			
	7	64	資料	写真で表現する	6		
		44-45	デ・工	つくる・使う・材料を味わう工芸			
		57	資料	金属でつくる			
		38-39	デ・工	空間を彩る光の装飾			
		10	12-13	絵・彫		瞬間の美しさを形に	7
			55	資料		人物をつくる	
24-29	鑑賞		浮世絵っておもしろい				
56	資料		北斎の大波				
30-31	鑑賞		日本文化との出会い				
40-41	デ・工		ひと目で伝わるみんなのデザイン				
後期 (18時間)	3	63	資料	色彩の特徴を深く知る	6		
		22-23	絵・彫	筆と水で多彩に表す			
	10	46-47	資料	※使う人の立場で考える	1		
		46-47	資料	※使う人の立場で考える			

■ 2 期制

2・3 下 (第3学年)					
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (35)
前期 (18時間)	4	表紙 2-4	オリ	学びの探求と未来	1
		5-7	オリ	社会に生きる美術の力	
		8	オリ	教科書の使い方	
		24-29	鑑賞	あの日を忘れない	
		9-13	絵・彫	わたし自身を見つめて	
		44-45	鑑賞	デザインで地域を豊かに	
	9	32-33	鑑賞	仏像の姿に見る人々の祈り	2
		56	資料	仏像の種類/美術文化の継承	
		38-39	デ・工	自分を表現する色	
		30-31	鑑賞	ルネサンスが目指したもの	
		34-35	鑑賞	どこまで修復すべきか	
		56	資料	美術文化の継承	
後期 (17時間)	10	20-21	絵・彫	あなたのイメージを探そう	7
		48-51	鑑賞	さまざまなアートに触れよう	
	3	40-41	デ・工	魅力を伝えるパッケージ	3
		36-37	デ・工	思いを込めた卒業記念品	
	60	オリ	あなたへ 明日への巣立ち	6	

■ 3 学期制

2・3 上 (第2学年)					
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (35)
1 学期 (14時間)	4	2-4	オリ	学びの実感と深まり	1
		5-7	オリ	あなたの美を見つけて	
		8	オリ	教科書の使い方	
		9-11	鑑賞	現代美術にザワザワザワッ!	
		50-51	資料	岡本太郎“芸術はみんなのもの”	
		14-15	絵・彫	自由な視点で風景を見つめる	
	7	64	資料	写真で表現する	6
		44-45	デ・工	つくる・使う・材料を味わう工芸	
		57	資料	金属でつくる	
		24-29	鑑賞	浮世絵っておもしろい	
		56	資料	北斎の大波	
		30-31	鑑賞	日本文化との出会い	
2 学期 (12時間)	9	38-39	デ・工	空間を彩る光の装飾	3
		12-13	絵・彫	瞬間の美しさを形に	
	12	55	資料	人物をつくる	7
		40-41	デ・工	ひと目で伝わるみんなのデザイン	
		63	資料	色彩の特徴を深く知る	
		22-23	絵・彫	筆と水で多彩に表す	
3 学期 (9時間)	1	46-47	鑑賞	※使う人の立場で考える	1
		46-47	鑑賞	※使う人の立場で考える	

■ 3 学期制

2・3 下 (第3学年)						
学期	月	頁	分野	題材名	時数 (35)	
1 学期 (13時間)	4	2-4	オリ	学びの探求と未来	1	
		5-7	オリ	社会に生きる美術の力		
		8	オリ	教科書の使い方		
		24-29	鑑賞	あの日を忘れない		
		9-13	絵・彫	わたし自身を見つめて		
		44-45	鑑賞	デザインで地域を豊かに		
	9	32-33	鑑賞	仏像の姿に見る人々の祈り	2	
		56	資料	仏像の種類		
		38-39	デ・工	自分を表現する色		
		30-31	鑑賞	ルネサンスが目指したもの		
		34-35	鑑賞	どこまで修復すべきか		
		56	資料	美術文化の継承		
2 学期 (14時間)	12	20-21	絵・彫	あなたのイメージを探そう	7	
		48-51	資料	さまざまなアートに触れよう		
	1	40-41	デ・工	魅力を伝えるパッケージ	3	
		36-37	デ・工	思いを込めた卒業記念品		
		60	オリ	あなたへ 明日への巣立ち		5

教科書に掲載した 各地域の取り組みや 主な掲載作家・作品

全国のさまざまな造形活動や美術館の取り組み、美術作品等が掲載され、生徒が自分たちの住む地域や全国の地域に関心を持ち、活動の参考にできるように配慮しています。

● 北海道

地域	学年	頁	掲載内容
北海道	2・3下	58	二風谷イタ
北海道札幌市	1 2・3下	73 59	札幌芸術の森 野外美術館 札幌芸術の森美術館
北海道札幌市	2・3上	11	札幌市円山動物園/ クワクポリウタ「LOST #16」 ※2017年の展示風景
北海道札幌市	2・3上	31	北海道立近代美術館/ エミール・ガレ「鯉文花器」
北海道札幌市	2・3上	52	モエレ沼公園/ イサム・ノグチ「テトラマウンド」
北海道札幌市	2・3下	39	アイヌ民族文化財団/ アットゥシ
北海道札幌市	2・3下	59	札幌の景観色カラーチャート
北海道(空知郡、室蘭市、小樽市)	1	40	大倉加奈「炭鉄港口ゴマーク」
北海道旭川市	2・3上	53	木内禮智「手」

● 東北

地域	学年	頁	掲載内容
青森県つがる市	1	35	遮光器土偶(青森県出土)
青森県五所川原市	1	54	五所川原立俣武多
青森県十和田市	2・3上	10	十和田市現代美術館/レアンドロ・エルリッヒ 「建物—エノスアイレス」
青森県十和田市	2・3上	52	十和田市現代美術館/ チェ・ジョンファ「フラワー・ホース」
岩手県二戸市	2・3上	34	浄法寺塗
宮城県	2・3下	58	宮城伝統こけし
宮城県仙台市	1	45	「社・都・仙台」シンボルマーク
宮城県仙台市	1	55	仙台七夕まつりと故郷復興プロジェクト
宮城県仙台市	2・3下	51	せんだいメディアテーク/ 仙台・神戸子ども絵画交流展
宮城県気仙沼市	1	74	リアス・アーク美術館
秋田県	1	55	ナマハゲ
秋田県	2・3下	45	シャルル・フレジェ/「AKITA VISION」
秋田県横手市	2・3上	59	秋田県立近代美術館/小田野直武「不忍池図」
山形県山形市	2・3上	46	o+h(大西麻貴 百田有希)「シェルター インクルーシブプレイス コバル」
福島県	2・3下	58	会津塗

● 関東

地域	学年	頁	掲載内容
茨城県水戸市	2・3上	3-4	茨城県近代美術館/片岡球子「春の富士(梅)」
茨城県ひたちなか市	1	43	小佐原孝幸「美乃浜学園駅の駅名標」
埼玉県熊谷市	1	35	埴輪・踊る男女(埼玉県出土)
埼玉県さいたま市	2・3下	49	さいたま国際芸術祭/フランク・ブラジグランド 「日常の修復 - 旧大宮区役所」
埼玉県東松山市	2・3上	61	丸木美術館/丸木位里・俊「原爆の図 第一部・幽霊」
千葉県千葉市	2・3下	48	千葉公園/「YohaS」
千葉県千葉市	2・3下	50	千葉県立美術館/加藤修「等身大から始めよう— 自然木で組み上げる— ※2022年の制作風景」
千葉県木更津市	2・3下	51	「木更津みなとくちアートプロジェクト」
千葉県松戸市	1	45	「やさシティ、まつど。」ロゴマーク
東京都千代田区	1	26-29	皇居三の丸尚蔵館/狩野永徳「唐獅子図屏風」
東京都千代田区	2・3上	31	出光美術館/喜多川歌麿「更衣美人図」
東京都千代田区	2・3下	55	出光美術館/「伴大納言絵巻 中巻」
東京都千代田区	2・3上	60	東京国立近代美術館/古賀春江「海」
東京都千代田区	2・3上	61	東京国立近代美術館/亀倉雄策「東京オリン ピックポスター」
東京都千代田区	2・3下	12	東京国立近代美術館/藤田嗣治「自画像」
東京都中央区	1 2・3上	11 21	アーティゾン美術館/ヴァシリイ・カンディンス キー「自らが輝く」
東京都中央区	2・3下	49	日本橋三井ホール/「イマーシブミュージアム」
東京都港区	2・3上	11	森美術館/塩田千春「集積—目的地を求めて 2014/2019年」展示風景
東京都港区	2・3上	14	東京都立中央図書館特別文庫室/歌川広重 「はねたのわたし辨天の社」
東京都港区	2・3上	56	慶應義塾図書館/溪斎英泉「北斎像」
東京都港区	2・3上	58	根津美術館/「双羊尊」
東京都港区	2・3上	59	根津美術館/円山応挙「藤花図」
東京都港区	2・3下	20	東京都庭園美術館/安田侃「風」
東京都新宿区	2・3上	56	手と目でみる教材ライブラリー/ 「手でみる絵 神奈川沖浪裏」
東京都台東区	1	18	朝倉彫塑館/朝倉文夫「墓守」
東京都台東区	2・3上	表紙、 3-4、 59	東京国立博物館/葛飾北斎「凱風快晴」
東京都台東区	2・3上	24	東京国立博物館/葛飾北斎「駿州江尻」 「尾州不二見原」
東京都台東区	2・3上	24 28	東京国立博物館/東洲斎写楽「三世大谷鬼次の 奴江戸兵衛」
東京都台東区	2・3上	24 29	東京国立博物館/ 喜多川歌麿「ポッピンを吹く娘」
東京都台東区	2・3上	25	東京国立博物館/歌川広重「亀戸梅屋敷」
東京都台東区	2・3上	56	東京国立博物館/葛飾北斎「海上の不二」
東京都台東区	2・3上	58	東京国立博物館/「袈裟褌文銅鑄」
東京都台東区	2・3上	59	東京国立博物館/雪舟等楊「破墨山水図」
東京都台東区	2・3上	60	東京藝術大学大学美術館/高橋由一「鮭」
東京都台東区	2・3上	60	東京国立博物館/黒田清輝「湖畔」
東京都台東区	2・3上	60	東京国立博物館/岸田劉生「籠子」
東京都台東区	2・3下	37	東京国立博物館/尾形光琳「八橋時絵螺鈿硯箱」
東京都台東区	2・3下	52	東京国立博物館/「未来の博物館 四季をめぐる 高精細複製屏風」※2022年の展示風景
東京都墨田区	2・3上	24 26-27 56	すみだ北斎美術館/葛飾北斎「神奈川沖浪裏」
東京都墨田区	2・3上	56	すみだ北斎美術館/葛飾北斎「賀奈川沖本空之 図」 「船頭孫助洋中にとよひて幽霊船を見る」

地域	学年	頁	掲載内容
東京都世田谷区	2・3上	53	祖師谷商店街
東京都世田谷区	2・3上	59	五島美術館/源氏物語絵巻 鈴虫二
東京都渋谷区	1	10	山種美術館/奥村土牛「醍醐」
東京都渋谷区	1	17	山種美術館/奥村土牛「門」
東京都渋谷区	2・3上	51	渋谷駅/岡本太郎「明日の神話」
東京都渋谷区	2・3上	61	国立代々木競技場/丹下健三
東京都渋谷区	1 2・3下	9 46	MIYASHITA PARK
東京都中野区	2・3下	50	NAKANO街中まるごと美術館!10周年/阿山 隆之「黒牛とフラミンゴと四葉のクローバー」 ※2013年の展示風景
東京都練馬区	1	65	練馬区立美術館/「芳年」展ポスター
東京都葛飾区	1	47	さとうみゆき「葛飾区柴又の英語のパンフレット」
東京都八王子市	1	73	東京富士美術館
東京都八王子市	2・3上	25	東京富士美術館/ 歌川国芳「みかけハコハみがとんだいゝ人だ」
東京都三鷹市	2・3上	5	三鷹市美術ギャラリー/ 赤瀬川原平「風のレコード・大盤」
神奈川県	2・3下	58	鎌倉彫
神奈川県横浜市	1	74	横浜美術館
神奈川県川崎市	1	45	川崎市ブランドメッセージロゴマーク
神奈川県川崎市	2・3上	20	川崎市岡本太郎美術館/岡本太郎「跳ぶ」
神奈川県川崎市	2・3上	51	川崎市岡本太郎美術館/岡本太郎「坐ることを 拒否する椅子」
神奈川県相模原市	2・3下	50	造形さがみ風っ子展
神奈川県鎌倉市	2・3下	56	東慶寺/「水月観音坐像」
神奈川県厚木市	2・3下	51	あつぎキッズゲルニカ
神奈川県箱根町	2・3上	31	ポーラ美術館/クロード・モネ「睡蓮の池」
神奈川県箱根町	2・3下	21	彫刻の森美術館/ヘンリー・ムーア「横たわる像: アーチ状の足」

● 中部

地域	学年	頁	掲載内容
新潟県	2・3下	58	燕鋳起銅器
新潟県新潟市	2・3下	51	ともにプロジェクト
新潟県十日町市	1 2・3上	56-57 58	十日町市博物館/「火焰型土器」
新潟県十日町市	2・3下	表紙 49	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ /マ・ヤンソン、ダン・チュン、早野洋介/MAD アーキテクト「Tunnel of Light」
富山県	2・3下	58	井波彫刻
富山県富山市	1	74	富山県美術館
富山県氷見市	2・3上	51	深鉢型土器(朝日貝塚出土)
石川県	2・3下	58	加賀友禅
石川県金沢市	1	45	泉屋宏樹「泉鏡花記念館のマーク」
石川県金沢市	1	71	金沢21世紀美術館/オラファー・エリアソン 「カラー・アクティビティ・ハウス」
石川県金沢市	2・3上	10	金沢21世紀美術館/レアンドロ・エルリッヒ 「スミミング・プール」
石川県金沢市	2・3上	60	国立工芸館/杉浦井水「東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通」
福井県	2・3下	59	越前漆器
長野県	2・3下	58	松本家具
長野県長野市	2・3上	3	水野美術館/横山大観「霊峰富士」
長野県長野市	2・3下	50	長野県立美術館/「感覚をひらくプログラム」

地域	学年	頁	掲載内容
長野県松本市	2・3上	31	日本浮世絵博物館/葛飾北斎「魚籃観世音」図
長野県松本市	2・3上	61	松本市美術館/草間彌生「大いなる巨大な南 瓜」
長野県茅野市	1	35	茅野市尖石縄文考古館/「土偶(仮面の女神)」
長野県茅野市	2・3上	58	茅野市尖石縄文考古館/「土偶(縄文のビーナス)」
静岡県	2・3下	58	駿河竹千筋細工
静岡県静岡市	2・3上	53	静岡県役所静岡庁舎/「静岡市プラモデル化計画」
静岡県静岡市	2・3上	60	静岡県立美術館/横山大観「群青富士」
静岡県浜松市	1	74	浜松市秋野不矩美術館
静岡県熱海市	2・3上	30、59	MOA美術館/尾形光琳「紅白梅図屏風」
愛知県	2・3下	58	有松・鳴海絞
愛知県名古屋市長久保	1	40	鈴木功「名古屋弁の手提げ袋」
愛知県名古屋市長久保	2・3上	51	久国寺/岡本太郎「歓喜」
愛知県名古屋市長久保	2・3上	53	名古屋ルーセントタワー/minim++「A Tale of Stray Kittens -異世界旅行猫絵図」
愛知県名古屋市長久保	2・3下	48	国際芸術祭あいち/迎英里子「approach 13.0」
愛知県名古屋市長久保	2・3下	54	徳川美術館/「源氏物語絵巻 橋姫十五巻の内 一巻」
愛知県名古屋市長久保	2・3下	56	名古屋城本丸御殿
愛知県豊橋市	2・3下	50	子ども造形パラダイス
愛知県岡崎市	2・3下	50	造形おかざきっ子展
愛知県一宮市	2・3下	11	一宮市三岸節子記念美術館/三岸節子「自画像」
愛知県瀬戸市	1	65	愛知県陶磁美術館/ 「昭和レトロモダン」展ポスター

● 近畿

地域	学年	頁	掲載内容
滋賀県大津市	1	45	大津市ロゴマーク
滋賀県大津市	2・3下	21	滋賀県立美術館/ コンスタンティン・ブランクーシ「空間の鳥」
滋賀県大津市	2・3下	55	石山寺/「石山寺縁起絵巻 巻二」
滋賀県近江八幡市	2・3下	50	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA/ 「ボーダレスの証明 (はたよここという衝動) ※2021年の展示風景
滋賀県甲賀市	2・3上	33	MIHO MUSEUM/尾形乾山「色絵梅図 茶碗」
滋賀県高島市	2・3下	47	高島市針江・霜降地区
京都府京都市	1	24-25	建仁寺/俊屋宗達「風神雷神図屏風」
京都府京都市	1	44	住英里 京都市 「SDGs未来都市・京都」シンボルマーク
京都府京都市	1	55	祇園祭
京都府京都市	2・3上	11	京都国立近代美術館/マルセル・デュシャン「泉」
京都府京都市	2・3上	22	京都国立博物館/雪舟等楊「慧可断臂図」
京都府京都市	2・3上	32	京都国立近代美術館/志村ふくみ「光の湖」
京都府京都市	2・3上	33	源光庵/「悟りの窓・迷いの窓」
京都府京都市	2・3下	33	広隆寺/「弥勒菩薩半跏思惟像」
京都府京都市	2・3下	35	西本願寺唐門
京都府京都市	2・3下	54-55	高山寺/「鳥獣人物戯画 甲巻」
京都府宇治市	2・3下	56	教王護国寺講堂/「不動明王坐像」
京都府宇治市	2・3上	59	平等院鳳凰堂
京都府宇治市	2・3下	56	平等院鳳凰堂/「阿弥陀如来坐像」
京都府木津川市	2・3下	56	浄瑠璃寺/「吉祥天女像」
大阪府	2・3下	58	大阪浪華鋳器

地域	学年	頁	掲載内容
大阪府大阪市	1	74	大阪中之島美術館
大阪府大阪市	2・3上	53	大阪広域環境施設組合 舞洲工場／フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー
大阪府堺市	2・3上	53	堺市立総合医療センター／安藤忠雄「どろんこ坊や」
大阪府吹田市	2・3上	50-51	岡本太郎「太陽の塔」
大阪府吹田市	2・3上	50	岡本太郎「生命の樹」
大阪府茨木市	2・3上	39	安藤忠雄「光の教会」
大阪府河内長野市	2・3下	32	観心寺／「如意輪観音菩薩坐像」
兵庫県	2・3下	58	豊岡柁柳細工
兵庫県神戸市	1	73	兵庫県立美術館の円形テラス
兵庫県神戸市	2・3下	51	兵庫県立美術館／神戸っ子アートフェスティバル
兵庫県神戸市	2・3下	47	磯上ロードの再整備
兵庫県神戸市	2・3下	51	ブラガメ
兵庫県三田市	2・3上	52	三田市庁舎前／新宮晋「星の対話」
奈良県奈良市	1	9	興福寺／「阿修羅像」
奈良県奈良市	2・3上	59	興福寺／運慶「本造無著菩薩・世親菩薩立像」
奈良県奈良市	2・3上	59	正倉院宝物／「平螺鈿背八角鏡」
奈良県奈良市	2・3下	32	薬師寺／「薬師三尊像」
奈良県奈良市	2・3下	33	新薬師寺／「十二神将立像・伐折羅像」
奈良県奈良市	2・3下	33	東大寺／「金剛力士像(阿形像)」
奈良県奈良市	2・3下	56	東大寺戒壇堂／「増長天」
奈良県奈良市	2・3下	56	奈良国立博物館／「阿修羅像(復元)」
奈良県平群町	2・3下	55	信貴山朝護孫子寺／「信貴山縁起絵巻 飛倉(山崎長者)の巻」
奈良県斑鳩町	2・3上	58	法隆寺金堂／止利仏師「釈迦三尊像」
奈良県明日香村	2・3上	58	高松塚古墳／「西壁女子群像」

● 中国・四国

地域	学年	頁	掲載内容
島根県松江市	2・3上	4	島根県立美術館／葛飾北斎「山下白雨」
岡山県	2・3下	58	備前焼
岡山県岡山市	2・3上	35	撫川うちわ
山口県萩市	2・3上	31	山口県立萩美術館・浦上記念館／歌川広重「亀戸天神境内」
香川県直島町	2・3下	48	瀬戸内国際芸術祭／藤本壮介「直島パヴィリオン」
愛媛県松山市	2・3下	48	道後オンセナート／蛸川実花「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭インスタレーション」
高知県	2・3下	58	土佐和紙
高知県馬路村	2・3下	45	梅原真「ゆずのぼんずしょうゆのラベル」
高知県四万十町	2・3下	44	梅原真「地元産のクリを使用した菓子のパッケージ」 「地元産茶のパッケージ」 「しまんと流域農業」 イメージイラスト
高知県黒潮町	2・3下	45	梅原真「カツオのたたきのパッケージ」 「砂浜美術館」

● 九州・沖縄

地域	学年	頁	掲載内容
福岡県	2・3下	58	博多人形
福岡県北九州市	1	74	北九州市立美術館
福岡県北九州市	2・3上	39	小倉城 竹あかり
福岡県福岡市	1	45	西島伊三雄 西島雅幸 「福岡市地下鉄の駅シンボルマーク」
福岡県福岡市	1	73	福岡アジア美術館
福岡県福岡市	2・3上	52	ミヤザキケンスケ 「SUPER HAPPY TRAIN PROJECT」
佐賀県	2・3下	58	伊万里焼・有田焼
佐賀県佐賀市	2・3下	24-25	佐賀県立美術館／池田学「誕生」
佐賀県唐津市	1	55	唐津くんち
長崎県大村市	2・3下	42	私の心を離さない大村市(長崎県大村市移住・定住促進PR動画)
熊本県	2・3下	58	山鹿灯籠
鹿児島県鹿児島市	1	45	鹿児島市「マグマシティ」シンボルマーク
沖縄県那覇市	2・3下	39	那覇市歴史博物館／「黄色地社丹尾長島霞文様紅型縮緬浴衣袋」
沖縄県宮古島市	2・3上	43	下地真千子「地域観光のPRポスター」

教科書に掲載した日本の世界文化遺産(2・3下 p.57)

地域	世界文化遺産
北海道、青森県、岩手県、秋田県	北海道・北東北の縄文遺跡群
岩手県	平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—
栃木県	日光の社寺
群馬県	富岡製糸場と絹産業遺産群
東京都(ほかにフランス、ドイツ、スイス、ベルギー、アルゼンチン、インド)	ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—
山梨県、静岡県	富士山—信仰の対象と芸術の源泉—
岐阜県、富山県	白川郷・五箇山の合掌造り集落
三重県、奈良県、和歌山県	紀伊山地の霊場と参詣道
京都府、滋賀県	古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)
大阪府	百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—

地域	世界文化遺産
兵庫県	姫路城
奈良県	法隆寺地域の仏教建造物
奈良県	古都奈良の文化財
島根県	石見銀山遺跡とその文化的景観
広島県	原爆ドーム
広島県	厳島神社
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業
福岡県	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
長崎県、熊本県	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
沖縄県	琉球王国のグスク及び関連遺産群

教科書に掲載した作家一覧(五十音順)

美術1
アルヴァ・アアルト
相沢康夫
朝倉文夫
泉屋宏樹
伊藤博敏
オラファー・エリアソン
大倉加奈
岡理恵子
奥村土牛
小佐原孝幸
狩野永徳
エミール・ガレ
ヴァシリイ・カンディンスキー
久山一枝
ポール・クリスチャンセン
呉一騎
フィンセント・ファン・ゴッホ
小林幹也
コバヤシユウジ
ジャン＝リュック・コルネック
榮大貴
佐藤国男
さとうみゆき
佐藤遊作
紫舟
マルク・シャガール
庄英里
城進
ジョルジュ・スーラ
鈴木功
鈴木康広
関本紀美子
田中一光
田中達也
依屋宗達
チームヤムヤム(山本学・山本えり奈)
モーリス・ドニ
富田菜摘
西島伊三雄
西島雅幸
西元祐貴
坂茂
クロード・モネ
ウィリアム・モリス
吉岡俊哉
ステイグ・リンドベリ
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
脇阪克二

美術2・3上	美術2・3下
赤瀬川原平	ソール・ライター
粟津潔	高橋由一
安藤忠雄	館鼻則孝
植田正治	田村克実
パイパー・ウェンデル	丹下健三
アンディ・ウォーホル	チームラボ
歌川国芳	チェ・ジョンファ
歌川広重	マルセル・デュシャン
太田幸夫	東洲斎写楽
o+h(大西麻貴・百田有希)	ウジェーヌ・ドラクロワ
尾形乾山	リチャード・エステス
尾形光琳	止利仏師
岡本太郎	オラファー・エリアソン
小野田直武	レアンドロ・エルリッヒ
ピーター・オプスヴィック	中村なづき
葛西薫	西野達
片岡球子	イサム・ノグチ
アドルフ・ムーロン・カッサンドル	はしもとみお
葛飾北斎	稗田倫広
亀倉雄策	岡本太郎
エミール・ガレ	パブロ・ピカソ
川島小鳥	ヨハネス・フェルメール
ヴァシリイ・カンディンスキー	ビーター・オプスヴィック
木内禮智	フランク・ロイド・ライト
菊池信孝	葛西薫
キクチユキミ	フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー
岸田劉生	片岡球子
喜多川歌麿	アドルフ・ムーロン・カッサンドル
ジョルジュ・デ・キリコ	佐藤遊作
草間彌生	紫舟
クリスト&ジャンヌ＝クロード	マルク・シャガール
グスタフ・クリムト	庄英里
モリス・ドニ	城進
黒田清輝	ジョルジュ・スーラ
クワクポリョウタ	鈴木功
溪斎英泉	鈴木康広
ポール・ゴーギャン	関本紀美子
古賀春江	田中一光
フィンセント・ファン・ゴッホ	田中達也
佐武絵里子	依屋宗達
ZAVアーキテクト	チームヤムヤム(山本学・山本えり奈)
塩田千春	モーリス・ドニ
茂本ヒデキチ	富田菜摘
志村ふくみ	西島伊三雄
下地真千子	西島雅幸
アルベルト・ジャコメッティ	西元祐貴
新宮晋	坂茂
ジョルジュ・スーラ	クロード・モネ
菅原隆宏	ウィリアム・モリス
杉浦非水	吉岡俊哉
ロバート・スミッソン	ステイグ・リンドベリ
雪舟等楊	ピエール＝オーギュスト・ルノワール

令和7年度版

教科書検討の観点からみた特色

この資料のデータは、弊社Webサイト「資料ダウンロード」からご使用いただけます。

https://www.nichibun-g.co.jp/r7js_textbooks/c-bi/



1. 教育基本法及び学校教育法との関連

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ	
教育基本法第二条	【第一号】 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	表現及び鑑賞の全活動において、美しいものや優れたものに触れ、豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材が掲載されている。また、生徒作品・作家作品や、発想・構想の手助けとなる活動的な情景写真を取り入れ、健やかな身体を養うことにも配慮されている。	■全体
	【第二号】 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	表現活動をする上で基礎・基本となる、技法や安全指導、美術や美術館への関心を高める資料、作家のあらゆる作品や、さまざまなアートイベントを紹介する鑑賞資料を通して、幅広い知識や教養、個々の能力を伸ばし自主自立の精神を養うこと、伝統と文化を尊重すること等の態度を養うことができるように配慮されている。	【学びを支える資料】 ■美術1 p.56-74 ■2・3上 p.50-64 ■2・3下 p.48-60
	【第三号】 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	一人一人の個性を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるような巻頭オリエンテーションを設定。美術1巻頭オリエンテーションでは、ジオルジュ・スーラの図版と、松任谷由実さん(シンガーソングライター)の言葉を掲載し、 美術との出会いの大切さを共有するページ が設けられている。美術2・3上では、葛飾北斎や横山大観、片岡球子の多様な富士山の表現図版、美術2・3下ではオラファー・エリアソンの図版がそれぞれ掲載されていて、 成長に応じた美術の学び を共有できるページが設定されている。	【巻頭オリエンテーション】 ■美術1 p.2-4、p.5 ■2・3上 ■2・3下 p.2-4
	【第四号】 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	中学校3年間の美術の学びの取り組みを、生徒自身が見通しを持って捉えられるように配慮し、個々の個性を尊重し、 自ら進んで意欲的に学習 に取り組めるように工夫されている。また、小・中学校の連携が意識されている。	■美術1 p.6-7「ようこそ美術の学びへ」
		各巻の巻頭オリエンテーションでは、発達の段階に応じた造形的な見方・考え方を示し、美術で何を学ぶのかが伝えられている。また、各巻の「教科書の使い方」では、授業や学習のしやすさを考えた紙面の説明が掲載されている。	【巻頭オリエンテーション】 ■美術1 ■2・3上 ■2・3下 p.2-4 【教科書の使い方】 ■美術1 ■2・3上 ■2・3下 p.8
		2年生からの美術の学びを、より実感的に深めていくため「あなたの美を見つけて」が設定されている。 個々の個性を尊重し、自ら進んで意欲的に学習に取り組む ことができるように工夫されている。	■2・3上 p.5-7「あなたの美を見つけて」
		シンガーソングライター・タレントの所ジョージさんをはじめ、アートディレクター・グラフィックデザイナーの吉田ユニさん、分身ロボット発明者の吉藤オリイさん等を紹介し、美術の学びが これからの人生や生活に大きく関わってくる力 になることが示されている。	■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」
		卒業を控えた3年生に向けたメッセージが掲載されている。3年間の美術の学びで得た、幅広い知識や教養、培った豊かな情操を改めて意識させて、 これからの生活にも役立てられるように 配慮されている。	■2・3下 p.60「あなたへ 明日への巣立ち」
		つくることを職業としている人の活動を紹介するページが設けられ、 造形や美術と職業との関連 が示されている。また、題材ページや特設ページにおいて、工芸品や、家庭で生徒の作品を飾っている様子、生活の中で出会う造形等が掲載され、 造形や美術が生活と関連している ことが示されている。	【職業との関連】 ■美術1 p.40-43/p.58-59/p.73-74 ■2・3上 p.24-29/p.32-35/p.50-51 ■2・3下 p.44-45/p.50-51/p.58-59 【生活との関連】 ■美術1 p.38-39/p.40-43/p.48-49/p.50-51/p.70-72 ■2・3上 p.16-17/p.32-35/p.36-37/p.38-39/p.40-41/p.42-43/p.44-45/p.46-47/p.52-53 ■2・3下 p.38-39/p.42-43/p.44-45
		協力して行うことで、 満足感や達成感 を得られるような題材が設定されている。	■全体
	互いの作品や活動について話し合い、それぞれの 違いやよさを認め合う様子 が多く掲載されている。	■全体	
	主体的に 社会に参画する態度 を養うことができるように、掲載作品や題材設定が配慮されている。	■美術1 p.73-74「美術館へ行こう」 ■2・3上 p.40-41「ひと目で伝わるみんなのデザイン」/p.42-43「その1枚が心を動かす」/p.46-47「使う人の立場で考える」/p.48-49「デザインの手でできること」 ■2・3下 p.34-35「どこまで修復すべきか」/p.46-47「住み続けられる町づくり」	
	自然や環境を意識した題材を設定し、 自然や環境の大切さ、生命への尊重 について深く考えられるように工夫されている。	■美術1 p.20-21「材料に命を吹き込む」/p.48-49「暮らしの中の木の工芸」/p.52-53「自然の美しさから生まれた」 ■2・3上 p.18-19「しぐさで語る動物たち」 ■2・3下 p.24-29「あの日を忘れない」/p.46-47「住み続けられる町づくり」/p.38-39「自分を表現する色」	

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ	
教育基本法第二条	【第五号】 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	日本の 伝統文化 に関わる題材や、 伝統工芸、美術作品 等が掲載され、実際に表現したり鑑賞したりすることで、そのよさを深く理解できるように工夫されている。また、地域に関わる作品をつくる事例等を掲載し、 地域文化や郷土のことを考えながら活動 することができるように工夫されている。	【題材】 ■美術1 p.24-29/p.30-31/p.34-35/p.44-45/p.48-49/p.50-51/p.54-55 ■2・3上 p.22-23/p.24-29/p.30-31/p.32-35 ■2・3下 p.32-33/p.34-35/p.38-39 【学びを支える資料】 ■美術1 p.56-57/p.66-67 ■2・3上 p.52-53/p.58-61/p.62 ■2・3下 p.48-49/p.54-55/p.56/p.57/p.58
		諸外国の生徒作品 や作家の作品、建築物等を取り上げ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解し学ぶ中で、国際理解の大切さや平和の発展に寄与する態度が身に付くように工夫されている。	【諸外国の生徒の作品】 ■美術1 p.18 ■2・3下 p.12/p.18 【諸外国の作家の作品など】 全体 【国際理解や平和の発展に関する事例】 ■美術1 p.54-55 ■2・3上 p.30-31 ■2・3下 p.24-29
学校教育法	学校教育法との関連	学校教育法に示された教育の目的および目標に則し、題材の設定、作品や写真の選択、文章表現等について十分配慮されている。	■全体
		特に、学校教育法第三十条第二項に示された「 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うこと 」について、 資質・能力の三つの柱に基づく「学びの目標」を全題材に設定 する等重視されている。	■全体

2. 学習指導要領との関連

教科書検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
社会に開かれた教育課程との関連	各巻の「 教科書の使い方 」では、美術科で育む資質・能力について、生徒のみならず、保護者や教科書を見る全ての人たちと共有できる工夫がされている。また、巻頭のオリエンテーションにおいて、アーティストやデザイナーを取り上げることで、美術が 社会や生活の中で生かされている ことが示されている。	【教科書の使い方】 ■美術1 ■2・3上 ■2・3下 p.8 ■巻頭 オリエンテーション ■美術1 p.5「目次・学びの言葉／松任谷由実」 ■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」
	社会問題や、地域文化等を取り上げており、 美術の学習が社会とつながっている ことが示されている。	【社会との関わりを示す事例】 ■美術1 p.73-74 ■2・3上 p.40-41/p.42-43/p.46-47/p.48-49 ■2・3下 p.34-35/p.44-45
	家庭に作品を持ち帰って使ったり、地域の施設等の展示を通して、学校での学びを地域の方に伝えたりする事例や、地域の方と協働して活動する事例が多数掲載され、 美術科における社会との連携が例示 されている。	【家庭で作品などを使う事例】 ■美術1 p.38-39/p.50-51 ■2・3上 p.36-37 ■2・3下 p.38-39/p.44-45 【地域と関わる活動の事例】 ■美術1 p.44-45 ■2・3上 p.38-39 ■2・3下 p.42-43/p.48-51
教科の目標との関連	全ての題材において、 表現と鑑賞が一体的 に学習できるような配慮がされている。題材は、学習指導要領を基に「 表現 」および「 鑑賞 」領域のもと「 絵や彫刻など 」「 デザインや工芸など 」「 鑑賞 」の三つの分野に分けて示されている。表現の題材においても、 鑑賞活動が一体化 されており、 「中心となる考え方」 が示されている。	■全体
	全ての題材において、学習指導要領で示された目標に基づき「 学びの目標 」を設定し、 資質・能力の三つの柱の育成 が実現できるように工夫されている。	■全体
	「 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力 」を育成するために、ページレイアウトを工夫したり、特設ページや資料ページを設けたりして、学習を支えている。	■全体
資質・能力の三つの柱との関連	生徒が対象や事象を捉える「 造形的な視点 」(知識)について理解が深まるように、題材の「 学びの目標 」や主文、「 鑑賞の入り口 」において、造形的な捉え方ができる文言が工夫されている。また「 内容の取扱い2(3)(共通事項)のAの指導 」に示された知識に関する指導事項に基づき、第1学年、第2学年および第3学年と経験を重ねていけるよう、題材が配置されている。同様に、発達の段階に応じたテーマで鑑賞できるオリエンテーションや特設ページが設けられている。	■全題材 「学びの目標」「造形的な視点」
	題材ページに「 共通事項 」(知識)への意識を促す「 造形的な視点 」を設定し、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させ、活動と知識が結び付けられる工夫がされている。	■全題材 「造形的な視点」

教科書検討の観点	内容の特色	主な関連ページ	
資質能力の三つの柱との関連	知識及び技能との関連	技能の基礎を支え、生徒が自分の思いを基に活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて「 学びを支える資料 」として各巻末にまとめ、写真やイラスト、 題材導入QRコンテンツ 「 学びのはじめに 」で丁寧に説明されている。	【学びを支える資料】 ■美術1 p.56-74 ■2・3上 p.50-64 ■2・3下 p.48-60
	思考力、判断力、表現力等との関連	表現題材においては、発想・構想と、鑑賞の双方で働く「 中心となる考え 」を明確に示し、鑑賞したことが発想し構想を練る時に生かされ、また発想し構想をしたことが鑑賞において生かされるように工夫されている。	■全題材
		題材ページでは、生徒の発想や構想の手掛かりとして、掲載作品の 作者の言葉を多数掲載 し、その思いに触れて生徒がより自分の発想・構想を広げ深めることができるように配慮されている。さらに、発想や構想の手立てとして「 表現のヒント 」を設置し、情景写真、アイデアスケッチやワークシート等も掲載されている。	■表現題材において「表現のヒント」
		生徒が作品や友だちの活動等に対して、よさや美しさを感じ取ったり考えたりできるように、題材ページに鑑賞活動を促すような 情景写真 が掲載されている。	■全題材
		美術1の巻末資料では、 発想や構想の手立て を示したページを4ページで設定している。アーティストの鈴木康広さん、田中達也さんの活動を紹介するほか、生徒の活動に対するヒントが示されている。	■美術1 p.58-59「発想・構想の手立て①」鈴木康広、田中達也」/p.60-61「発想・構想の手立て②」
学びに向かう力、人間性等との関連	学習指導要領の趣旨を踏まえ、学びに向かう力、人間性等のうち主体的に学習に取り組む態度については「 学びの目標 」において分かりやすい言葉で示され、生徒が 主体的に学ぶ ことができるように工夫されている。	■全題材	
	学びに向かう力、人間性等のうち、感性や思いやり等観点別評価になじまない部分については、主文等において、活動が終わった後においても、 学びを人生や社会に生かす ことができるような例示がされている。	■全題材	
	各巻のオリエンテーションページでは、各学年において どんなことを学ぶのか 生徒に分かりやすい言葉と図版を使用して示しており、中学校美術科で育成を目指す学びに向かう力、人間性等を養えるよう配慮されている。	【オリエンテーションページ】 ■美術1 p.2-4/p.6-7 ■2・3上 p.2-4 ■2・3下 p.2-4	
	2・3下巻のオリエンテーションでは、シンガーソングライター・タレントの所ジョージさんをはじめ、アートディレクター・グラフィックデザイナーの吉田ユニさん、分身ロボット発明者の吉藤オリさん等を紹介し、美術の学びが これからの人生や生活に大きく関わってくる力 になることが分かりやすく示されている。また、卒業を控えた3年生に向けたメッセージを掲載。3年間の美術の学びで得た、幅広い知識や教養、培った豊かな情操を改めて意識させて、 これからの生活にも役立てられる ように工夫がされている。	■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」/p.60「あなたへ 明日への巣立ち」	
主体的・対話的で深い学びとの関連	主体的な学びとの関連	教科書QRコンテンツからは、学習への意欲や興味・関心が持続できる工夫がされている。「 教科書の使い方 」では、題材ページの見方や使い方を説明し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。	■全体 【教科書の使い方】 ■美術1 ■2・3上 ■2・3下 p.8
		題材は、多様な生徒が興味・関心を持つことができるように、さまざまな発想のきっかけから主体的に活動が取り組めるように工夫されている。	■全体
		実際の授業を撮影した情景写真が多く用いられ、生徒が親近感を持ち、写真の豊かな表情に触発されながら、活動に興味・関心を持つことができるように工夫されている。また、生徒が 理解しやすい題材名や主文、題材導入QRコンテンツ 「 学びのはじめに 」、図版のサイズにめりはりをもたせた構成等によって、より興味・関心を持って活動ができるよう紙面が作成されている。	■全体
		「 学びの目標 」を各題材の入口部分に示すことで、生徒が 見通しを持って活動 できるように工夫がされている。	■全体
		美術1においては「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれの領域・分野において、 導入ページを設定 している。生徒がこれから取り組む活動内容を把握し、 見通しを持って取り組める ように工夫がされている。	■美術1 p.9「鑑賞との出会い」/p.10-11「絵や彫刻との出会い」/p.36-37「デザインや工芸との出会い」
	対話的な学びとの関連 (協動的な学びにも関連)	生徒が考えを伝え合ったり、友人と相談したりしながら 協働して造形活動を行う様子 が紹介され、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫がされている。	■全体
	教科書全体を通して、美術での学びを生かしている人々の言葉や、伝統工芸に携わる人の話を掲載したり、アーティストの考え方を掲載したり、また題材導入QRコンテンツ「 学びのはじめに 」の視聴、 多様な考え方を手掛かりに考えることを促す工夫 がされている。	■各巻 全題材「学びのはじめに」 ■美術1 p.5「学びの言葉」/p.40-43「文字が生み出すイメージ」/p.58-59「発想・構想の手立て①」鈴木康広、田中達也」 ■2・3上 p.32-35「日本の技と心を受け継いで」 ■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」/p.34-35「どこまで修復すべきか」/p.44-45「デザインで地域を豊かに」	

教科書検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
深い学びとの関連	生徒が 造形的な見方・考え方を働かせて、自ら主題を生み出せる ように、題材の設定が十分に配慮されている。	■全体
	各巻のオリエンテーションでは、各学年の発達段階に応じて、 造形的な見方・考え方が 分かりやすい言葉で示されている。(鑑賞との出会い、絵や彫刻との出会い、デザインや工芸との出会いを含む)	【オリエンテーション】 ■美術1 p.2-11/p.36-37 ■2・3上 ■2・3下 p.2-8
	題材ページに設定された「鑑賞の入り口」「 造形的な視点 」は、その題材における 中心的な発問 となっていて、何を考えさせたいか、気付かせたいかが示されている。生徒の思考が深められ、主体的な学びへの入り口ともなっている。	■全題材
	「学びを支える資料」ページの下部エリアには、「 もっと知りたい 」を設置し調べ活動につながる検索窓とキーワードを掲載し、生徒の探究心につながる配慮がされている。	■各巻 「学びを支える資料」
(共通事項)の取り扱いについて	「 学びの目標 」の知識や、「 造形的な視点 」等教科書全体を通して取り扱われている。 (1) アの形や色彩等に関する事項 については、生徒が自分の感じ方で形や色彩を捉え、造形的な視点を豊かにするために生きて働く知識として 実感を伴った理解 をして身に付けていけるような工夫がされている。作品の 原寸大の表示 や、特設ページ、学習を支える資料等の示し方が工夫されている。 (2) イのイメージに関する事項 については、生徒が題材に出会いイメージを膨らませることができるよう、各題材の主文が形や色彩からイメージを喚起するような文言になっている。	■全体 【実感を伴った理解の事例】 ■美術1 p.24-29 ■2・3上 p.24-29 【原寸大表示の事例】 ■美術1 p.3-4/p.56-57 ■2・3上 p.24-29 ■2・3下 p.24-29
	題材ページに (共通事項)(知識) への意識を促す「 造形的な視点 」を設定し、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させ、活動と知識が結び付けられる工夫がされている。	■全題材
	題材ページでは「 表現のヒント 」を設置し、また紙面全体を通して、発想や構想、鑑賞等さまざまな場面で生徒がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子が紹介されている。	■全題材
言語活動の充実への配慮	掲載作品の「 作者の言葉 」や アイデアスケッチ を紹介し、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促している。	■全体
	題材導入QRコンテンツ 「 学びのはじめに 」で題材に取り組む意欲や主題が生み出されることで、まわりの人と対話し気持ちを伝え合うように工夫がされている。	■全題材

3.カリキュラム・マネジメントへの取り組み

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
他教科等との関連	題材ページや特設ページ、学びを支える資料において、 他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例 を掲載し、教科等横断的な学習ができるように配慮されている。	【国語科】 ■美術1 p.40-43 ■2・3上 p.62 ■2・3下 p.34-35 【数学科】 ■美術1 p.38-39 ■2・3上 p.54 【理科】 ■美術1 p.52-53 【社会科】 ■美術1 p.34-35 ■2・3上 p.24-29/p.58-61 ■2・3下 p.30-31/p.32-33/p.44-45 【音楽科】 ■美術1 p.5 ※その他詳しくは、p.48-49もご参照ください。
	総合的な学習の時間や特別活動(文化祭、進路指導、修学旅行等)と美術科の活動を関連させた事例が多く掲載されている。	【総合的な学習の時間や特別活動との関連】 ■2・3上 p.36-37 ■2・3下 p.9-13/p.20-21/p.32-33/p.34-35/p.56 ※その他詳しくは、p.48-49もご参照ください。
特別の教科 道徳との関連	紙面全体を通して、安全への配慮、自分の特徴に気付きよい所を伸ばす、友人と理解し合う、父母や祖父母、先生や学校の人々を敬愛する、美しいものに感動する心を持つ、郷土の伝統文化を大切に愛する、わが国の伝統文化を大切にする、等の項目と強く関連している。	■全体
	全ての題材は、つくりだす喜びを味わうことができるように配慮され、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものになっている。	
	特に道徳と深く関連するページは、 紙面の下部に「道徳との関連」 で示され分かりやすくなっている。	■「道徳との関連」掲載ページ ※その他詳しくは、p.48-49もご参照ください。
小学校教育との接続への配慮	美術1の「 中学校美術の世界へようこそ 」では、 小学校での経験や学びで身に付けたこと が中学校でも活用できることが示されている。1年生が入学後に興味を抱きやすく、小学校の経験を活用しやすい題材が、適切な時期に配列されている。	■美術1 p.6-7「中学校美術の世界へようこそ」/p.8「教科書の使い方」/裏表紙 教科書QRコンテンツ「表紙作品の動画を見よう」

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
キャリア教育との関連	題材ページには、デザイナーや復元絵師らのコラムを設置して、学習に関連してより深く情報が得られ、 社会や職業について考えられるよう配慮 されている。	■美術1 p.40-43「文字が生み出すイメージ」 ■2・3下 p.34-35「どこまで修復すべきか」/p.44-45 「デザインで地域を豊かに」
	美術館への興味を促すページに美術館の学芸員からのコメントを掲載したり、掲載した作品の作家の声を聞くことで、 作者の臨場感ある思いを感じ取る ことができるようインタビュー動画のQRコンテンツを掲載している。	■美術1 p.73-74「美術館へ行こう」 ■2・3下 p.48-51「さまざまなアートに触れよう」から 「社会と関わる美術」
	シンガーソングライターの松任谷由実さんや、芸術家岡本太郎、シンガーソングライター・タレントの所ジョージさん等、各巻において著名人の言葉や作品を掲載することで、 美術の学びがこれからの人生や生活に大きく関わってくる力になる ことが分かりやすく示されている。	■美術1 p.5「学びの言葉」 ■2・3上 p.50-51「岡本太郎“芸術はみんなのもの”」 ■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」 ※その他詳しくは、p.48-49もご参照ください。

4.GIGAスクール構想・ICT・デジタルへの取り組み

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
情報機器の利用について	タブレットコンピューターでアプリケーションを活用したり、カメラ機能を使って表現や鑑賞している様子が掲載され、 情報機器の活用例 が示されている。また、「学びを支える資料」では、情報機器の活用例や画像のトリミング、写真の撮影方法、動画の作り方について説明されている。	【題材】 ■美術1 p.16-17/p.18-19/p.20-21/p.38-39/ p.44-45 ■2・3上 p.12-13/p.16-17/p.18-19/p.42-43 ■2・3下 p.9-13/p.16-19/p.42-43/p.46-47 【学びを支える資料】 ■美術1 p.60-61 ■2・3上 p.64 ■2・3下 p.52-53
	情報モラルについて 撮影する際の注意 が示されている。また 肖像権や著作権 についても示されている。	【教科書の使い方】 ■美術1 ■2・3上 ■2・3下 p.8 【題材】 ■2・3下 p.42-43 【学びを支える資料】 ■美術1 p.60-61 ■2・3上 p.64 ■2・3下 p.52-53
教科書QRコンテンツについて個別最適な学びに関連	全ての題材や、学びを支える資料全体 を通じて、適宜QRコンテンツが設定され、生徒が主体的に活用できる工夫がされている。 題材導入QRコンテンツ「学びのはじめに」 は、全題材において学習の導入として設置。主文や「鑑賞の入り口」から示す題材の導入動画になっている。その 題材への興味・関心 を促し活動が分かりやすいよう構成している。また、先生の 授業準備における負担軽減 や、不登校等さまざまな事情を抱える生徒でも学習できるよう配慮されている。	■全題材「学びのはじめに」 ※詳しくは、p.14-15、30-31をご参照ください。
	「技法を見よう」「資料を見よう」「動画を見よう」 等のQRコンテンツについて、学びを支える資料ページの各所に掲載され、 技能を補足 したり学習を補ったりする豊富な資料により、主体的に学ぶことができるよう配慮されている。	【学びを支える資料】 「技法を見よう」「資料を見よう」「動画を見よう」
	「メッセージを見よう」 のQRコンテンツから、所ジョージさん等の著名人インタビューや、作家インタビューの映像を見ることができ、生徒自ら興味を持ち関心を広げながら学習に意欲が持てるようになっている。	■2・3下 p.5-7「社会に生きる美術の力」/ p.51「社会と関わる美術」
	「みんなの作品ギャラリー」 のQRコンテンツから、公開されている生徒作品を見ることができ、生徒が表現したいことを見つけたり発想を広げたりする時に参考になるよう配慮されている。	■美術1 p.75 ■2・3上 p.65 ■2・3下 p.61「みんなの作品ギャラリー」
	QRコンテンツの 「デッサン人形アプリ」 では、人物表現をする時参考になる体の傾きやねじれ、関節の位置等を意識して自分で確認しながら操作できるよう工夫されている。	■2・3上 p.55「人物をつくる」
	作品を左右上下等 360度 に回転して鑑賞したり、関係資料が スライドショー になっているQRコンテンツがあり、より学びが深められるよう工夫がされている。	【360度】 ■美術1 p.14-15/p.57 ■2・3上 p.12-13/ p.18-19 【スライドショー】 ■美術1 p.59/p.61-62/p.65 ■2・3上 p.5-11/p.9-11/p.42-43/p.52-53 ■2・3下 p.5-7/p.44-45/p.48-51
教科書以外にも、 学習者用デジタル教科書 や、 教師用指導書 同梱の 指導者用デジタル教材 において、別途指導や学習に役立つコンテンツの準備が整えられている。	※詳しくは、p.42-47をご参照ください。	
知的財産権や肖像権への配慮	各巻の「教科書の使い方」において 「作品について注意しよう」 が示される等、作品の著作権等知的財産権についての注意や、撮影における肖像権の注意が喚起されている。	■各巻 p.8「教科書の使い方」 ■美術1 p.60-61「発想・構想の手立て②」 ■2・3下 p.42-43「動きで伝えるメッセージ」/p.52-53「動画で表現する」
プログラミング教育・STEAM教育の配慮	主に発想・構想の手立てのページにおけるアイデア出しから作品完成までのプロセスや、デザインや工芸の題材ページにおける制作のプロセス等、 プログラミング的思考 に関連する内容が示されている。	■美術1 p.58-59「発想・構想の手立て①」/鈴木康広、田中達也/p.60-61「発想・構想の手立て②」 ■2・3上 p.42-43「その1枚が心を動かす」 ■2・3下 p.40-41「魅力を伝えるパッケージ」/p.52-53「動画で表現する」

5.持続可能な社会の実現に向けた取り組み(SDGs、ESDとの関わり)

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
SDGs、ESDとの関連	生徒が、持続可能な社会のつくり手として、現代的な諸課題について 美術科との関わりを通して考えを深められる よう、環境、伝統文化・地域文化、多文化共生、国際理解、平和・人権、防災・安全に関わる題材や事例が取り上げられている。	■美術1 p.20-21「材料に命を吹き込む」 ■2・3上 p.40-41「ひと目で伝わるみんなのデザイン」/p.42-43「その1枚が心を動かす」/p.46-47「使う人の立場で考える」/p.48-49「デザインの手でできること」 ■2・3下 p.24-29「あの日を忘れない」/p.38-39「魅力を伝えるパッケージ」/p.44-45「デザインで地域を豊かに」
	形と色彩で象徴的に表現したシンボルマークのデザイン例として 持続可能な開発目標(SDGs) を取り上げ、多文化共生について考えながら学べるように配慮されている。	■美術1 p.44-45「形や色で伝えるシンボルマーク」
	持続可能な開発目標(SDGs)と関連するページには、 SDGsのゴール を掲載することで、より意識して学習ができるよう配慮されている。	■美術1 p.20-21「材料に命を吹き込む」 ■2・3上 p.42-43「その1枚が心を動かす」/p.46-47「使う人の立場で考える」/p.48-49「デザインの手でできること」 ■2・3下 p.2-4「学びの探求と未来」/p.40-41「魅力を伝えるパッケージ」/p.44-45「デザインで地域を豊かに」/p.46-47「住み続けられる町づくり」/p.48-51「さまざまなアートに触れよう」
環境教育への配慮	自然材や、再利用できる材料を使用する題材を設定し、 環境問題への関心 を高める工夫がされている。	■全体
	環境や安全について考えながら 未来の町 をつくる題材が掲載され、 環境問題への関心 を高められるように配慮されている。	■2・3下 p.46-47「住み続けられる町づくり」
人権尊重・多様性理解の視点	家族や高齢者、地域の方、障がいのある方たち等に対して、日頃から優しい気持ちで向き合い、思いやりを持てるように、題材を通して、 心豊かで、慈愛のある人間性が育まれる ように配慮されている。	■美術1 p.18-19「人間っておもしろい」 ■2・3上 p.46-47「使う人の立場で考える」/ p.48-49「デザインの手でできること」
	美術科の活動を通して、身近な地域、社会とつながる活動を紹介することで、 人との触れ合いや共生 を通して造形表現を深めていくことができるように工夫されている。	■美術1 p.44-45「形や色で伝えるシンボルマーク」/p.54-55「祭りを彩る造形」 ■2・3上 p.38-39「空間を彩る光の装飾」/p.40-41「ひと目で伝わるみんなのデザイン」 ■2・3下 p.46-47「住み続けられる町づくり」
	あらゆる立場の作家や活動を紹介し、 人との触れ合いや共生 への意識を高める工夫がされている。	■全体
	題材や資料ページにおいて、 平和や人権 に関わる作家作品やポスター等が取り上げられている。	■2・3上 p.42-43「その1枚が心を動かす」/p.46-47「デザインの手でできること」 ■2・3下 p.24-29「あの日を忘れない」
伝統文化・地域文化に関して	作品の掲載においては、外国の生徒や作家作品、アール・ブリュットの作品等が取り上げられ、教科書全体を通して 多様性を尊重しながら学ぶ ことができるように工夫されている。	【諸外国の生徒の作品】 ■美術1 p.18 ■2・3下 p.12/p.18 【諸外国の作家の作品など】全体 【アール・ブリュット作品】 ■2・3下 p.48-51「さまざまなアートに触れよう」から「アール・ブリュット」
	題材や資料において、 伝統工芸や伝統文化 に関わる作品が多く取り上げられている。 地域文化 について考えながら活動している事例が紹介されている。また、 アイヌや沖縄の文化 等も取り上げ、日本の伝統文化の多様性が示されている。	【題材】 ■美術1 p.24-29/p.30-31/p.34-35/p.44-45/ p.50-51/p.54-55 ■2・3上 p.22-23/p.24-29/ p.30-31/p.32-35 ■2・3下 p.32-33/p.34-35/ p.38-39 【学びを支える資料】 ■美術1 p.56-57/p.66-67 ■2・3上 p.52-53/ p.56/p.58-61/p.62 ■2・3下 p.56-59
防災・安全に関して	教科書全てにおいて、用具の安全な使い方や、活動場所の安全を確認すること等が必要な場面において喚起するマークが設定されていて、 安全に配慮する態度を養う ことができるように工夫されている。	■全体
	防災研究の専門家である河田恵昭先生(関西大学特別任命教授)による全面的な校閲のもと編集されている。	■全体
	防災・安全について、非常口のピクトグラムや、震災を描いた作品と作家のメッセージが収録されたQRコンテンツ、震災からの復興を願った展示の様子等が掲載され、 防災への考えを深められる ように配慮されている。	■美術1 p.73-74「美術館へ行こう」 ■2・3上 p.40-41「ひと目で伝わるみんなのデザイン」 ■2・3下 p.48-51「さまざまなアートに触れよう」から「社会と関わる美術」

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
特別支援教育への配慮	色覚特性の有無に関わらず、全ての生徒が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色等、 カラーユニバーサルデザインに配慮 して編集されている。題材の分野を示すアイコンは、誰もが見やすく見分けやすい配色によるデザインで作成されている。 また、作品図版には見開きページごとに左から順番に 作品番号をキャプション部分に掲載 して、作品名等が認識しづらい生徒へも配慮されている。	■全体
	誰にとっても読みやすいように、文字は 読みやすさを重視したUDフォント が選ばれており、行間や文字色、背景色とのコントラスト等にも配慮されている。	■全体
	特別支援教育の専門家 である大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所・客員研究員)による、全面的な校閲のもと編集されている。	■全体
	多様な表現を認められるように、参考作品における支持体の大きさ、形、素材はさまざまなものが取り上げられている。また、障がいの有無に関わらず生徒が題材に主体的に取り組めるように、さまざまな発想のきっかけを持つ題材が設定されている。 また、一つの題材の中でいくつかの実践パターンが示され、 生徒の実態に応じて 材料の種類や数を絞る等実践方法を変えられるように配慮されている。 また、教科書とは別に文字の大きさを変えた 拡大教科書 を制作したり、文字の拡大や音声の読み上げ等、 学習支援のための機能 を備えた学習者用デジタル教科書を制作したりする体制が整えられている。	■全体 ※p.42-45をご参照ください。
	手で触って作品を鑑賞 する美術館の事例が掲載され、触覚で鑑賞する方法が提案されている。	■2・3下 p.48-51「さまざまなアートに触れよう」から「多様性と共同制作」
国際理解教育への配慮	諸外国の生徒の作品や作家の作品、建築物等を取り上げ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解し学ぶ中で、国際理解の大切さや平和の発展に寄与する態度が身に付くように工夫されている。	【諸外国の生徒の作品】 ■美術1 p.18 ■2・3下 p.12/p.18 【諸外国の作家の作品など】 ■全体

6.構成・配列

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
題材の系統性への配慮	中学校 3年間の生徒の発達 について、授業の取材や全国各地の実践報告を基に研究し、発達の段階に応じて学びが獲得でき深められるよう、 系統性に配慮 して配列されている。 題材の分類は「表現」および「鑑賞」領域のもと、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」の分野で構成され、それぞれの分野の中で、生徒の発達に十分配慮した材料や用具が取り扱われている。	■全体
内容の配列や学年の順序性の工夫	発達の段階に応じた学びを重視し、 1年生、2年生、3年生それぞれの成長を後押しする美術の学び が設定されている。 美術1では 新しい見方や感じ方との出会い を大切に、美術の楽しさを感じられるように工夫されている。 美術2・3上では、 試行錯誤を繰り返していくことで知的理解が深まり、美術の学びを実感 できることが重視されている。 美術2・3下では、さらに自己を掘り下げて考えていく題材が設定され、 進路や将来を見据えて、自分らしい価値観が形成されることで未来へとつながる ように配慮されている。	■全体
地域性や、先生への負担軽減への配慮	学校や地域の実態に合わせて活動できるように、豊富な題材と図版が掲載され、 同一題材内で、短時間で活動できる題材 も紹介されている。また、地域の実態によって入手可能な材料が違うことに配慮し、さまざまな材料での実践が同一題材内で紹介されている。	■全体
	全題材の本文に設置したQRコンテンツ「学びのはじめに」は、 題材導入用の動画 として、先生の 授業準備の負担が軽減 されるよう準備されている。	■全題材
	題材ページでは、題材名や目標、本文、「鑑賞の入り口」等を示した紙面構成によって、見通しを持って授業に取り組めるようになっている。また、教師用指導書でも、すぐに 指導案が作成し やすいよう、授業準備等の負担軽減について考慮されている。	■全題材 ※p.42-45をご参照ください。
	美術科の学習が、 身近な話題と結び付いている ことを意識できるよう、オリンピックのモニュメントや自治体のマークが作品例として取り上げられている。また、 パラリンピックの選手が使用する競技用の車いすや義足が、問題解決のデザインの作品例として掲載 されている。	■美術1 p.44-45「形や色で伝えるシンボルマーク」 ■2・3上 p.48-49「デザインのかでできること」
	全都道府県のさまざまな造形活動や美術館の取り組み、伝統工芸、美術作品等が掲載され、生徒が自分たちの 住む地域や全国の地域に関心 を持ったり、 活動の参考にしたり できるように配慮されている。	■全体 ※p.52-55をご参照ください。

7.正確性及び表記・表現

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
カラーユニバーサルデザインへの配慮	色覚特性の有無に関わらず、全ての生徒が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色等、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 題材の領域や分野を示すアイコンは、 誰もが見やすく見分けやすい配色 によるデザインで作成されている。誰にとっても読みやすいようにUDフォントを使用し見やすさが考慮されている。	■全体
	「学びを支える資料」の色彩ページでは、日本で唯一の色彩に関する研究機関である日本色彩研究所の監修のもと編集されている。	【学びを支える資料】 ■美術1 p.70-72 ■2・3上 p.62-63 ■2・3下 p.59
文章表現は適切であるか	題材名は、発達の段階に考慮しつつ、生徒の興味・関心を引き出し、イメージを広げることができるよう工夫されている。	■全体
	本文では、発達の段階に合わせて生徒が 造形的な見方・考え方を意識 して題材に取り組むことができるように、イメージを広げやすい言葉を選び、工夫されている。	■全体
	題材ページの 「作者の言葉」 は、掲載されている作家や生徒作品の作者の思いが伝わるよう、発想・構想する時に役立つような分かりやすい表現になっている。	■全体
図版・写真等は学習内容と関連付けられているか	資質・能力の三つの柱 に対応した 情景写真 が示されている。また 制作のプロセス の様子が読み取れるような写真、活動途中や終末での 相互鑑賞・プレゼンテーションの様子 も掲載されている。 作品図版 においても、生徒の発想や構想、工夫が読み取りやすいよう、一部を拡大して掲載する等、活動の際の参考になるように工夫されている。	■全体
レイアウトは斬新であるか	作品が大きく掲載 されていることはもちろん、 活動の情景 が多く掲載され、活動の入り口から出口まで、全ての場面が等しく学びであること示すようなレイアウトになっている。 また、 大小のめりはりをつける ことで紙面に動きをもたせ、生徒が興味・関心を持つことのできる構成になるように工夫されている。	■全体
つくる過程や図解は明確であるか	仕組みのつくり方 等は図示することで分かりやすく、生徒が主体的に活動できるように示されている。 また、 材料や用具の取り扱い については「学びを支える資料」にまとめられ、いつでも参照できるように工夫されている。	■美術1 p.36-37「思いが飛び出すカード」 ■各巻 「学びを支える資料」

8.造本

検討の観点	内容の特色	主な関連ページ
大きさ・判型への配慮	A4判正寸よりも横に2cm広い A4ワイド判 で、作品や写真を見やすく、インパクトを持たせて掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。	■全体
印刷の鮮明さ	生徒の作品、美術作品のニュアンスや材質感、色彩等の忠実な再現が図られている。 用紙は美術科の教科書として、再生紙の中で 最適の良質コート紙、マット紙 が使用されている。また、 実感的理解を促して作品を鑑賞するページ では、そのほかの本文用紙よりも厚手のマット紙が使用されている。さらに、通常の印刷線数の倍の精度での 高精細印刷 が施されている。	■全体 ■美術1 p.24-29「屏風、美のしかけ」 ■2・3上 p.24-29「浮世絵っておもしろい」
使いやすさへの配慮 製本の堅牢さ	製本は、通常の無線綴じよりも丈夫な見返し付きの あじろ綴じ で、 長期の使用に耐える丈夫な造本 にされている。また、表紙は 耐水性のあるコーティング を施し、水濡れ等に対しても耐久性が高くされている。使いやすさに配慮され、かつ長期の使用に耐える 堅牢で丈夫な造本 にされている。	■全体
装丁の工夫	表紙には美しい光沢と耐水性のあるコーティングが施され、丈夫で水濡れに対しても耐久性がある。表紙に掲載されている作品は、細部が見えるように拡大され、 裏表紙にわたって作品を掲載 して鑑賞資料としても活用できる工夫がされている。	■各巻表紙・裏表紙
安全・健康への配慮	植物性インクが使用されているため、従来の印刷に比べ人体への影響が少なく、また化学物質に過敏な生徒のために表紙の表面加工が工夫され、 化学物質の残存量を少なく するための努力が行われている。	■全体
環境への配慮	資源保護に配慮され、表紙・本文ともに 再生紙 が使用されている。印刷においては、 植物性インク が使用されている。	■全体
軽量化への取り組み	生徒の体への負担をできるだけ軽減するため、 現行教科書よりもさらに軽量化した再生紙 の中で最適の良質コート紙が使用されている。 そのため、現行教科書より各巻で約30～40g程度軽くなっている。	■全体



この教科書は、コロナ禍にあった
2020年から制作がはじまりました。

大変な中にあっても
全国の先生方にご協力いただき、
授業への取材を重ね、
お借りした生徒作品を撮影し、
生徒のため先生のための教科書ができました。

**全ての生徒の確かな学びに
全ての先生の指導の力に**



日本文教出版の志 - Purpose

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみよう」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

私たちは、学びのはじまりを大切に、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に
教科書・教材の発行に挑戦してきました。
どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。
その想いを、志 (Purpose) に込めています。
私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、
その先に広がる未来をともに育んでいきます。





代表著作者
村上 尚徳先生

■元文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
元IPU・環太平洋大学
教授、副学長

題材ごとに何に着目してどう考えればよいのかという「見方・考え方」に気付かせるために、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示しています。これらを基に掲載作品等の「鑑賞」—生徒自らの「表現」—お互いの作品の「鑑賞」を行うことで、学びの定着が図れる教科書です。

日文 中学美術
LINEあります!

LINE
公式アカウント



登録はこちらから!
「中美(チュービ)」の更新情報等
をお届けします!

代表著作者

村上尚徳
元IPU・環太平洋大学教授、副学長
大橋 功 和歌山信愛大学教授
佐藤 賢司 大阪教育大学教授
松原 雅俊 横浜国立大学教授
山田 猛 東京造形大学教授
山田 一文 戸田市立戸田中学校校長
齋藤 守彦 塩竈市立玉川中学校校長

校閲者

[特別支援教育・
カラーユニバーサルに関する校閲]
大内 進 星美学園短期大学
日伊総合研究所客員研究員

[防災・安全教育に関する校閲]
河田 恵昭 関西大学特別任命教授

[道徳教育に関する校閲]
島 恒生 畿央大学大学院教授

著作者

飯塚 清美 高崎市立高南中学校教諭
乾 茂樹 京都市立西京極中学校教頭
岩崎 知美 川崎市立東橋中学校教頭
荻島 千佳 横浜市立東山田中学校教諭
河西 栄二 岐阜大学教授
梶岡 創 大津市立打出中学校教諭
金子 一夫 茨城大学名誉教授
川合 克彦 元川崎市立玉川中学校校長
小泉 薫 元お茶の水女子大学附属中学校副校長
小澤 基弘 埼玉大学教授
齋江 貴志 群馬大学教授
佐々木 俊江 盛岡市立下橋中学校教諭
杉坂 洋嗣 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
相馬 亮 尚綱学院大学教授
大黒 洋平 文京区立第九中学校教諭
鷹野 晃 元北州市立明野中学校校長
高橋 憲司 弘前市立第五中学校教諭
高藤 友輔 さいたま市立大宮南中学校教諭
竹内 晋平 奈良教育大学教授
田島 達也 京都市立芸術大学教授
寺田 寛 糸魚川市立糸魚川中学校教頭
内藤 正人 慶應義塾大学教授
長尾 菊絵 国立市立国立第二中学校教諭
長澤 博昭 元横浜市立芹が谷中学校校長
新関 伸也 東海大学教授
橋本 光明 元すみだ北斎美術館館長、
信州大学名誉教授
花里 裕子 中野区立第五中学校講師
花輪 大輔 北海道教育大学教授
福本 謹一 兵庫教育大学名誉教授
松久 公嗣 福岡教育大学教授
森元 勇気 厚木市立藤塚中学校教諭
藪 陽介 南砺市立城端中学校教諭
山竹 弘己 静岡市立清水第一中学校教頭
吉田 浩気 横浜市立篠原中学校教諭
渡邊 敏尚 新潟市立金津小学校校長
日本文教出版株式会社 編集部

資料提供・協力

【協力】デザイン/レベルフォーデザイン(渡邊大路、山下めぐみ、渡辺このか)、イラスト/ながのみみ 撮影/表紙・p.2田村裕未(アーク・コミュニケーションズ)、表2-p.1・p.8池ノ谷侑花(ゆかい)、p.9・p.64杉山亜希子(ゆかい)、p.64清水亮一(アーク・コミュニケーションズ)
【資料提供】飛鳥園、オリイ研究所、雲母社、DNPアートコミュニケーションズ、所ジョージ、日本色研事業、針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会、PPS通信社
【クレジット】表紙・p.2・p.6-7・p.16-17「富嶽三十六景」より 凱風快晴 Image:TNM Image Archives、「Tunnel of Light」マ・ヤンソン、ダン・チュン、早野洋介 / MADアーキテツ / Photo Nakamura Osamu、p.4・p.19・p.28・p.34・p.45「富嶽三十六景」より 神奈川沖浪裏 画像提供: すみだ北斎美術館、p.5・p.17・p.38「アイス・ウォッチ」2014 Photo: Justin Sutcliffe Courtesy of the artist;neugerriemschneider,Berlin; Tanya Bonakdar Gallery, New York / Los Angeles ©2014 Olafur Eliasson、p.5・p.40「Rami」東京大学新野研究室・山中研究室 / 撮影:加藤康、p.5・p.38-39・p.48-49SDGs:国連(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)「The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States」、p.5・p.29「火焰型土器」十日町市博物館、p.6-7amanaimages、p.15「志村ふくみ」都機工房、「スミミング・プール」金沢21世紀美術館、p.17「版を彫る」竹筥堂、「富士山をスケッチする片岡球子」読売新聞社、「Shadow travelling on the sea of the day」Photo: Iwan Baan Courtesy of the artist;neugerriemschneider, Berlin; Tanya Bonakdar Gallery, New York / Los Angeles ©2019 Olafur Eliasson、p.19・p.40「誕生」デジタルアーカイブ:凸版印刷 / ©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo/Singapore、p.19「YohaS」千葉公園YohaS振興会(拓匠開発内) / 体験型デジタルアート制作:東映ツークン研究所、p.26・p.39「風雷神神図屏風 展示風景」IM(インターネットミュージアム)、p.30「岡本太郎」岡本太郎記念館・万博記念公園、p.32「持ち手を調節できる包丁」JUDグリッパ包丁 ウカイ利器、p.34「薬師三尊像」薬師寺、p.38「MIYASHITA PARK」撮影:ナカサンドパートナーズ、p.39「漆塗り」画像提供:二戸市、p.39「未来の美術館 四季をめぐる 高精細複製屏風」原本・複製品所蔵:東京国立博物館 / 高精細複製品制作:綴プロジェクト(主催:京都文化協会/共催:キャンノ) / コンテンツ制作:PROTOTYPE INC. / 協力:東京国立博物館、文化財活用センター、p.40「死んだ子と母」画像:Photographic Archives Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia

令和7(2025)年度版 中学校美術科 内容解説資料

116 日文	教科書 記号・番号
1	美術 116-72
2・3上	美術 116-83
2・3下	美術 116-84

この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD22375



日本文教出版株式会社

https://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690